

埼玉の男女共同参画施策の実施状況

～埼玉県男女共同参画推進プランによる～

県の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況を明らかにするため、プランの体系、総合的な推進体制や事業の実績等について記載しました。また、「男女共同参画推進プラン」を実効性あるものにするため、平成15年度から導入した「男女共同参画配慮度評価」の内容や推進指標の進捗状況などを掲載しました。

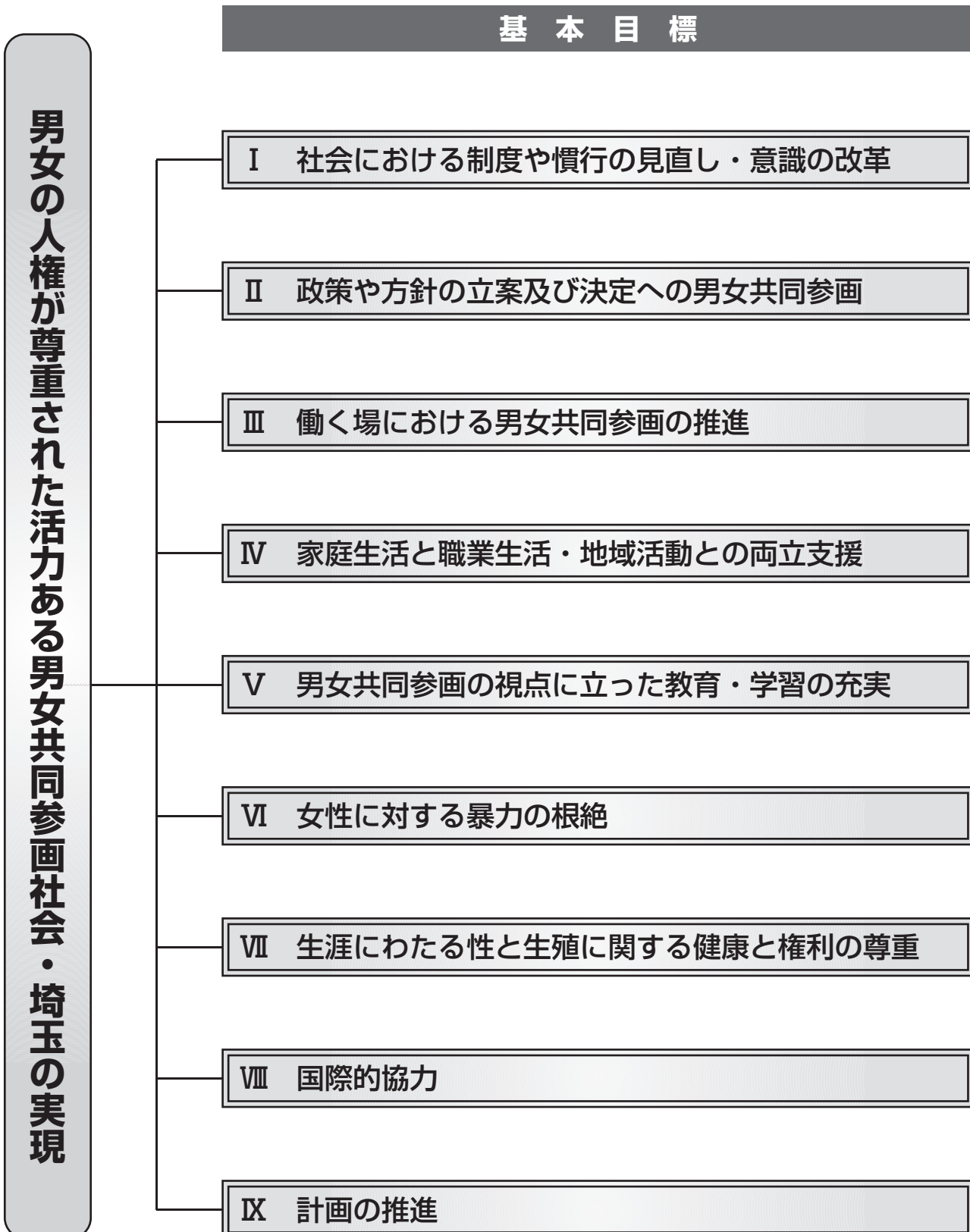
※ 「埼玉県男女共同参画推進プラン2010」（計画期間：平成14年度～平成22年度）については、平成18年度が計画の中間年にあたるため、その一部を見直しました。見直しにあたり、社会経済情勢の変化や新たな課題に対応するため、重点的に取り組む事項の決定や推進指標の追加などを行うとともに、名称を「埼玉県男女共同参画推進プラン」に、終期を平成23年度に変更しました。

I 「埼玉県男女共同参画推進プラン」の推進

経済・社会環境の変化や県の特徴を踏まえながら、社会のあらゆる分野における男女共同参画を推進していくために、県、市町村、県民、事業者、民間団体が、それぞれの立場から主体的に取り組んでいくとともに、互いに連携・協力しながら、取組を展開しました。

また、平成23年度は計画期間の最終年度にあたるため、プランの効果を検証するとともに、計画の見直しを行いました。

1 プランの体系



基本的な課題

施策の基本的な方向

1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

- ①性別による固定的な役割分担意識にとらわれない男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し
- ②男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進
- ③男女共同参画に関する法制度や救済制度の活用能力の向上及び相談・情報提供による支援
- ④男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供

2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

- ①メディアにおける男女の人権とりわけ女性の人権を尊重する自主的な取組の促進
- ②男女の人権とりわけ女性の人権を侵害する情報に対する県民意識の醸成
- ③不適切な性・暴力表現を扱ったメディアからの青少年等の保護
- ④男女共同参画の視点に立った表現の浸透

3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

- ①県における政策・方針決定過程への男女共同参画
- ②市町村への支援
- ③事業所・各種団体の取組の支援・協力要請
- ④積極的格差是正措置の具体化
- ⑤女性の人材に関する情報の収集・整備・提供
- ⑥政策・方針決定過程の透明性の確保

4 働く場における男女共同参画の推進

- ①男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進
- ②女性が生き生きと能力を発揮できる就業の支援
- ③多様な就業ニーズを踏まえた就業環境の整備
- ④商工業等に携わる女性の経営・地域社会への参画促進
- ⑤農林業に携わる女性の農業経営・地域社会への参画促進

5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

- ①子育て・介護の社会的支援
- ②家庭と仕事・地域活動の両立に関する意識啓発の推進
- ③仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の促進
- ④家庭生活における男女共同参画の促進
- ⑤地域活動における男女共同参画の促進

6 高齢者等が生き生きと生活できる支援

- ①高齢者が生き生きと生活できる支援
- ②特別な配慮を必要とする人への支援

7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

- ①男女共同参画の視点に立った男女平等教育の推進
- ②男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進
- ③男女共同参画に向けた生涯学習の推進

8 女性に対する暴力の根絶

- ①女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり
- ②配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援の推進
- ③セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進
- ④性犯罪への対策の推進
- ⑤売買春への対策の推進
- ⑥人身取引対策の推進
- ⑦ストーカー行為等への対策の推進
- ⑧児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進

9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

- ①生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利についての考え方の定着
- ②生涯を通じた女性の健康保持対策の推進
- ③健康をおびやかす問題についての対策の推進

10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

- ①国際社会における取組の成果の取入れ・浸透
- ②男女共同参画に関する国際理解の促進
- ③「途上国の女性支援（GAD イニシアティブ）」に配慮した国際協力の推進
- ④国際交流団体・国際協力団体等による取組の促進
- ⑤県内在住の外国人への支援

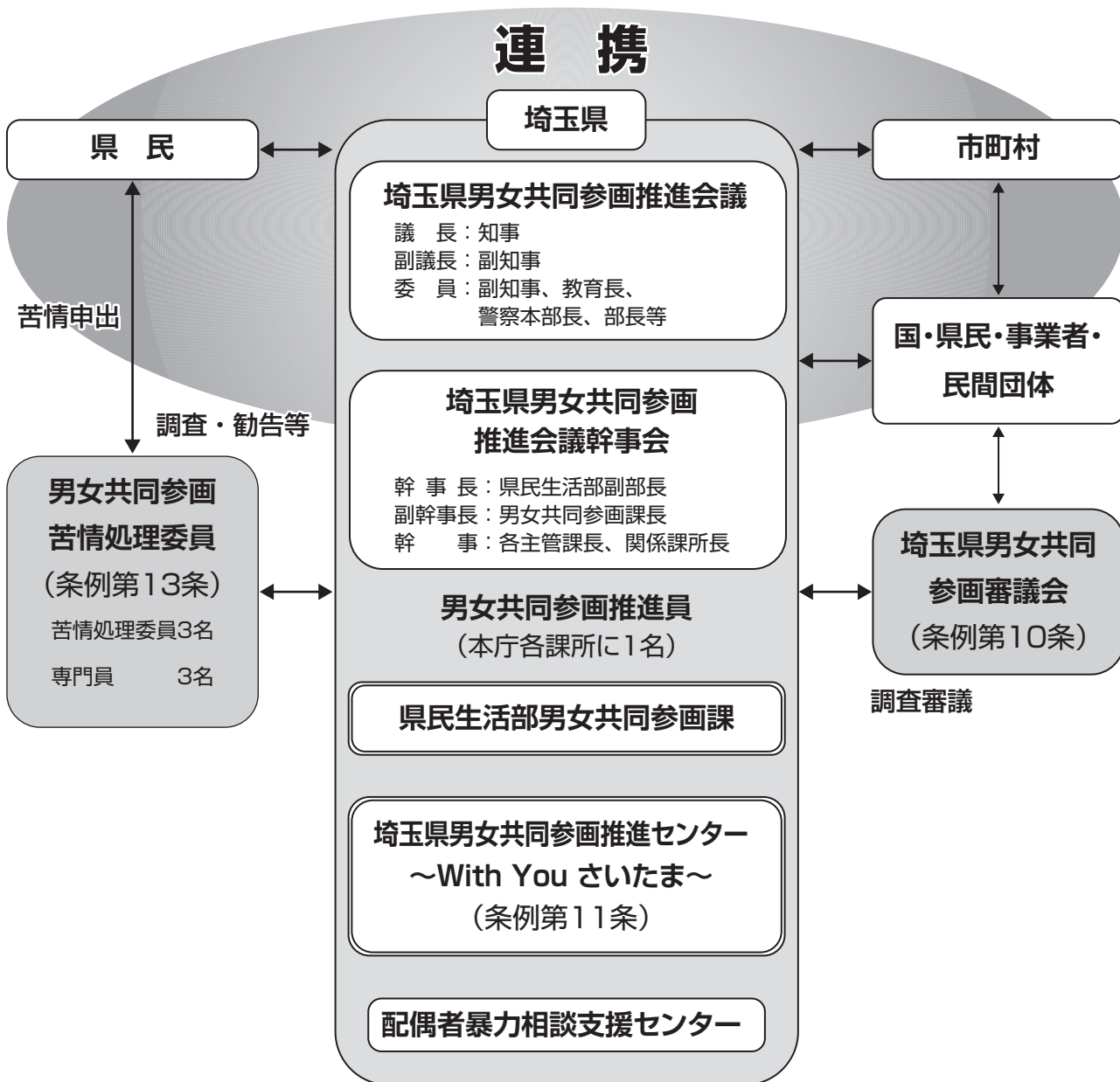
11 計画の推進

- ①総合的な推進体制の整備
- ②市町村の推進体制の整備への支援と市町村との連携
- ③国・県民・事業所・民間団体との連携
- ④計画の進行の管理
- ⑤女性のチャレンジ支援体制の整備

2 総合的な推進体制の整備

(1) 庁内推進体制の整備

あらゆる分野への幅広い男女共同参画の推進に向け、総合的に計画を実施していくために、男女共同参画推進会議、幹事会、また本庁各課所に1名ずつ男女共同参画推進員を設置し、全庁的に取り組みます。



(2) 男女共同参画審議会の意見の反映

男女共同参画の推進に関する審議会の意見を、積極的に施策へ反映させていきます。

(3) 埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま) による男女共同参画の推進

男女共同参画社会の実現に向けた総合的な拠点施設として、①情報収集・提供、②相談、③学習、研修、④自主活動・交流支援の各事業を行うことにより、県の施策を実施し、並びに県民・事業者及び市町村による男女共同参画の取組を支援します。

(4) 苦情処理制度の運用

苦情を適切かつ迅速に処理するため、より一層、関係機関と有機的な連携を図っていきます。また、広く県民が利用できるよう制度の周知徹底を図ります。

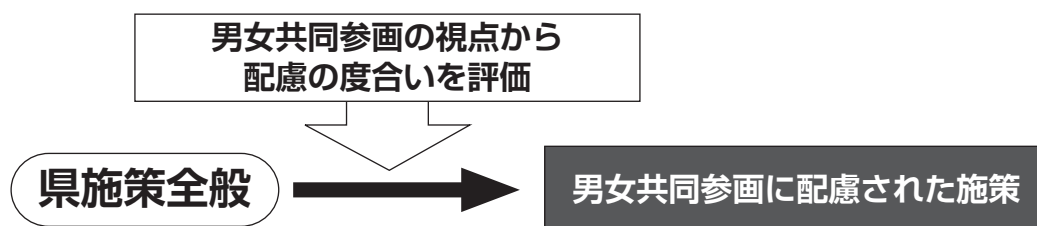
3 「男女共同参画配慮度評価」による計画の推進

(1) 男女共同参画配慮度評価とは

「男女共同参画推進プラン」を実効性あるものとするため、県施策について男女共同参画を推進する視点からの配慮の度合いを評価します。

自己チェックとして、各課は担当施策等の企画・立案、実施後の状況について、男女共同参画の視点から取組に対する配慮の度合いを評価し、男女共同参画課に報告をします。男女共同参画課では、この結果を取りまとめ、各課にフィードバックすることで、全庁的に男女共同参画に配慮された事業の推進を図ります。

また、外部チェックとして、男女共同参画審議会では、実施状況をチェックし、意見を述べます。



(2) 評価方法及び内容

① 自己チェック

ア 事業のチェック

全庁、全施策を対象に、施策の企画・立案、実施後の状況についてチェックします。

【新規事業】

「埼玉県男女共同参画推進プラン」に基づき、男女共同参画を推進する視点から、施策の基本的方向について、施策の企画・立案時に、チェックを実施します。

【埼玉県男女共同参画推進プランに関する主な事業】

実施後の状況について、「チェックポイント5」に基づきチェックを行いました。その結果については、次ページの概要のとおりです。



- 1 事業の対象となる人々及びその現状を男女別に把握したか
- 2 事業の企画、立案、実施の際、女性、男性双方の意見を聞いたか
または、双方が参加したか
- 3 女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮をしたか
- 4 事業の方向性を男女共同参画に配慮したか
- 5 事業の効果が女性、男性それぞれに寄与したか

イ 日常の取組（職員の意識改革・広報・県民サービス）について

【職員の意識改革】

男女共同参画の視点から、職場環境・県民サービスについて、職員が行う自己チェックを実施し、その結果を職場研修などで活用し、職員の意識改革を進めます。

【広報・県民サービスの向上】

「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」を活用しながら、行政広報のチェックなどを行い、県民サービスの向上を図ります。

② 外部チェック「男女共同参画審議会からの意見」

平成24年3月28日に開催された平成23年度第4回男女共同参画審議会において、「平成23年度版男女共同参画に関する年次報告」について、委員から様々な意見が出されました。

II 平成23年度「事業のチェックポイント5」の概要

「男女共同参画推進プラン」の主な関連事業について、担当課所が「チェックポイント5」に基づき自己チェックを行った結果は次のとおりです。

1 「チェックポイント^{ファイブ}5」のチェック結果

1	事業の対象となる人々及びその現状を男女別に把握した	130事業 (40.1%、前年：37.6%)
2	事業の企画、立案、実施の際、女性、男性双方の意見を聞いた、または双方が参加した	227事業 (70.1%、前年：65.5%)
3	女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮をした	182事業 (56.2%、前年：54.0%)
4	事業の方向性を男女共同参画に配慮した	141事業 (43.5%、前年：41.3%)
5	事業の効果が女性、男性それぞれに寄与した	230事業 (71.0%、前年：62.7%)

() 内はチェックポイント5を実施した関連事業324事業（再掲を含む）のうちの割合。

2 男女共同参画に配慮した主な内容（概要）

①事業の対象を男女別に把握

- ・相談件数、利用者数、登録者数、平均賃金、育児休業取得者数などで、男女別にデータを把握した。
- ・各種事業で男女別アンケートを実施した。

②企画、立案、実施への男女共同参画

【県民コメントの実施】

- ・計画の策定において、県民コメントや広聴会を実施し、女性・男性双方の意見を聞いた。

【ボランティア団体・NPO等からのヒアリング】

- ・女性、男性双方の会員がいる関係団体と意見交換を行った。

【委員などにおける女性の登用】

- ・審議会、委員会、協議会、懇話会、審査会、推進会議の委員に女性を登用した。
- ・各学校の研究に対する指導者に積極的に女性を登用した。
- ・女性捜査員を多く登用し、被害女性の立場を重視した取締りを推進した。

【女性職員、男性職員双方による企画・立案・実施】

- ・対象業者に対する立入調査や防犯指導を女性、男性双方の職員で実施した。
- ・事業を実施する際には女性、男性の双方が意見を出し合い、計画を作成、実施した。

【女性、男性双方の県民が事業に参加】

- ・女子生徒、男子生徒双方が参加する防犯指導を実施した。
- ・外国籍県民県政モニターで男女双方の意見を聴取した。

③女性、男性双方にとって利用・参加しやすいような配慮

【インターネットの活用】

- ・講座の開催や募集要綱などの情報提供、電子申請サービスを利用した申込みに対応。
- ・インターネット労働相談の実施。
- ・ウェブサイトや携帯サイトに駅のバリアフリー情報を掲載し、利用を呼びかけた。

【時間帯の配慮】

- ・県政出前講座は希望に応じて平日夜間、土日、休日も実施している。
- ・事業や相談、研修会等を夜間や休日に実施するなど、女性・男性双方が参加しやすいよう配慮した。

【育児・介護への便宜】

- ・イベントを実施する際に保育サービスを提供した。
- ・駅のトイレ等に乳幼児用のベッドやいすを設けるなど、育児中の男性・女性双方が利用しやすい施設の整備基準で配慮した。

【その他】

- ・男性・女性双方の相談員を配置し、同性の視点からきめ細やかなアドバイスを行ったり、相談者が相談しやすいように配慮している。
- ・公共施設で可能な限り多くの方が活用できるようにバリアフリー仕様を標準とした。

④事業の方向性を男女共同参画に配慮

- ・世論調査、県政サポーターアンケート結果について、男女別やライフステージ別の集計を行った。
- ・参加者のニーズに応じ、仕事と家庭の両立をテーマにした就職支援セミナーを実施した。
- ・講習科目は、性別に関係なく受講できるものを設定。
- ・広報物を作成する際、男女の役割分担を決めるような表現をしないよう注意した。
- ・公共工事の競争参加資格審査において、子育て支援推進等社会的貢献評価点として、「一般事業主行動計画」を策定・届出等をした者や、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の規定を上回る育児制度を就業規則等で規定・届出等をした者に加点した。

⑤事業の効果が女性、男性それぞれに寄与

- ・職員の男女共同参画やセクシュアル・ハラスメント防止に対する意識が高まった。
- ・不妊専門相談は夫婦で受けてもらうことにより、夫婦で不妊に取り組むきっかけづくりを促進した。また、不妊についての不安感の軽減・解消につながった。
- ・直売所の整備により、女性・男性・高齢者等様々な農業生産者が手軽に農産物を出荷できるようになった。
- ・多数の企業に子育て応援宣言をしてもらうことにより、子育て支援の社会的気運を高めることに寄与した。
- ・男女が公正に評価され、仕事と家庭の両立が可能な職場づくりの必要性についての認識が高まった。

Ⅲ 「埼玉県男女共同参画推進プラン」 関連事業の推進状況

1 主要な施策及び政策指標等に基づく進捗状況（平成23年度）

◆県政全般にわたる総合計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」などの、関連主要計画の指標に基づく進捗状況です。

基本的な課題1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

①男女共同参画に関する意識・実態調査（3年毎に実施）

指 標	H21年度	目標値（時期）
性別によらない固定的な役割分担意識に同感しない県民の割合	52.5%	50%以上 (H21年度)

②「さいたま輝き荻野吟子賞」による表彰（〈きらきら輝き部門〉、〈さわやかチャレンジ部門〉：各1名）

③男女共同参画推進センターにおける相談の実施

④男女共同参画苦情処理制度の活用

基本的な課題2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

①「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」の効果的な運用

基本的な課題3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

①県審議会等委員への女性の参画促進

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
審議会等における女性委員の割合	35.1%	35.9%	40%（H23年度）

②女性の職員の職域拡大と管理職への積極登用

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
県における女性の役付職員の割合	16.3%	17.0%	—

③女性の人材育成と活用

	H22年度	H23年度	目標値（時期）
男女共同参画アドバイザー養成講座修了者数	30人	45人	—
男女共同参画アドバイザー登録者数	134人	182人	—

基本的な課題4 働く場における男女共同参画の推進

①「さいたま輝き荻野吟子賞」による表彰（〈いきいき職場部門〉：1事業所）

②女性が働きやすい就業環境の整備

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
有効求人倍率	0.41倍（H22平均） ※全国0.52倍	0.51倍（H23平均） ※全国0.65倍	全国平均値以上
女性（15～64歳）の就業率	55.5%（H17）	58.6%（H22）	58.4%（H22）
女性キャリアセンターの利用者数	4,330人	8,191人	—

③農山村女性の活動推進

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
家族経営協定締結数	1,841戸	1,869戸	2,100戸 (H22年度)
農業委員数に占める女性委員の割合	5.7%（H22.10）	6.4%（H23.10）	7.0%（H23年度）
農村女性アドバイザー認定数	425人	431人	450人（H22年度）

基本的な課題5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

①子育て・介護の社会的支援

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
ファミリー・サポート・センター設置数	45か所	51か所	52か所(H26年度)
保育所の待機児童数	1,310人	1,186人	—
預かり保育実施私立幼稚園率	91.5%	89.5%	90.0%(H21年度)
保育サービスの利用児童数	97,473人	101,853人	94,000人 (H23年度)
放課後児童クラブ数	995か所	1,052か所	1,038か所 (H26年度)
地域子育て支援拠点数	392か所	442か所	451か所 (H26年度)
特別養護老人ホームのベッド数	22,176人分	23,478人分	22,928人分 (H23年度)
介護老人保健施設のベッド数	14,943人分	15,457人分	16,737人分 (H23年度)
パパ・ママ応援ショップ協賛店舗数	13,901店舗	15,141店舗	12,000店舗 (H21年度)

②仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の促進

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
中小企業において、仕事と育児の両立支援制度を整備している事業所の割合	75.9%	69.8%	80.0% (H23年度)
子育て応援宣言企業数（従業員50人以上）	1,062社	1,196社	1,300社 (H23年度)

③家庭生活における男女共同参画の促進

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
子育てアドバイザーの登録数	1,075人	1,132人	800人(H21年度)

④地域活動における男女共同参画の推進

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
様々な地域活動やNPO・ボランティア活動を行っている県民の割合	38.2%	38.7%	50.0% (H23年度)
NPO 法人数	1,525法人	1,664法人	2,000法人 (H23年度末)

基本的な課題6 高齢者等が生き生きと生活できる支援

①高齢者が生き生きと生活できる支援

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
高齢者が健康で自立して活動的な状態で暮らすことができる期間（65歳に達した方が身の回りの世話が必要となるまで【要介護2】の期間）	男性 16.58年 女性 19.53年 (H21実績)	男性 16.7年 女性 19.7年 (H22実績)	男性17.0年 女性19.5年 (H23年)

②特別な配慮を必要とする人への支援

指 標	H22年度	H23年度	目標値（時期）
障害者の生活支援のためのグループホーム	2,305人	2,535人	2,505人 (H23年度)
障害者入所施設の定員	5,720人	6,072人	5,053人 (H23年度)
福祉サービス利用援助事業利用者数（日常生活上の手続援助等）	812人	833人	650人(H23年度)
エレベーター等の設置により段差を解消して人にやさしく利用しやすくなった鉄道駅（1日平均利用者5千人以上）の割合	93.6%	95.6%	100%(H23年度)

ノンステップバスの割合	46.0%	48.9%	50% (H23年度)
バリアフリー化された住宅の戸数	144,000戸 (H20)	—	145,000戸 (H23年度)

基本的な課題7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

①男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
生涯学習ステーションのアクセス件数	45,423件	282,601件	71,000件 (H23年度)

基本的な課題8 女性に対する暴力の根絶

①DV(ドメスティック・バイオレンス)の総合対策

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
交際相手からの暴力防止講座モデル実施校数	累計45校	累計54校	累計17校 (H20年度)

②児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
市町村が主体の要保護児童対策地域協議会設置	全市町村	全市町村	全市町村 (H20年度)
地域小規模児童養護施設設置数	20か所	20か所	23か所 (H23年度)
小規模グループケアのための職員配置	16施設24人	16施設40人	—
心理職員(常勤)配置児童養護施設数	19施設	19施設	—

基本的な課題9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

①生涯を通じた女性の健康保持対策の推進

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
周産期母子医療センター数	9か所	10か所	8か所(H23年度)

基本的な課題10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

①県内在住の外国人への支援

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
県や市町村から生活に必要な情報を入手できている外国籍県民の割合	81.6%	73.8%	90.0% (H23年度)

基本的な課題11 計画の推進

①総合的な推進体制の整備

②市町村の推進体制の整備への支援と市町村連携

指 標	H22年度	H23年度	目標値(時期)
男女共同参画推進に関する行動計画を策定した市町村数(累計)	96.9%	100%	100% (H23年度)
男女共同参画に関する条例を制定した市町村数(累計)	28市町	28市町	—

③国、県民、事業者、民間団体との連携

④男女共同参画配慮度評価

2 「埼玉県男女共同参画推進プラン」主な関連事業の平成23年度実績及び平成23, 24年度当初予算額

基本目標Ⅰ 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

基本的な課題1 社会における制度や慣行の見直し・意識の改革

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①性別による固定的な役割分担意識にとらわれない男女共同参画の視点に立った社会制度や慣行の見直し	ユニバーサルデザインの推進	・ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣（参加者延べ280名） ・ユニバーサルデザイン当事者参加推進研修会の開催（参加者78名）	1,428	1,286	文化振興課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	6	6	男女共同参画課
②男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画に関する話題を随時取り上げた。 ・彩の国だより情報版 8回 ・テレビ番組（テレビ埼玉） 1回 ・ラジオ番組（エフエムナックファイブ） 7回 ・彩の国メールマガジン 6回	514,791	497,145	広聴広報課
	県政出前講座	・実施件数 831件 ・延べ参加者数 53,059人	-	-	広聴広報課
	人権施策推進費	・「ヒューマンフェスタ2011さいたま」の開催 ・「人権啓発指導者養成講座」、「企業人権担当者研修会」の開催	51,887	50,309	人権推進課
	男女共同参画週間の普及啓発	男女共同参画週間についてポスターの掲示、庁内放送、「彩の国だより」等で周知した。	-	-	男女共同参画課
	男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進	・男女共同参画に関する話題を随時取り上げた。（彩の国だより）等 ・HPを活用し、豊富な情報提供を行った。	-	-	男女共同参画課
	男女共同参画推進条例の普及促進	県政出前講座など様々な機会を捉えて普及促進を行うとともに、「統計でみる埼玉の男女共同参画」を作成し、研修会や説明会などで配付した。	316	308	男女共同参画課
③男女共同参画に関する法制度や救済制度の活用能力の向上及び相談・情報提供による支援	男女共同参画苦情処理機関の運営	・処理件数計 2件（人権侵害事案等） ・苦情処理PRカードの作成（15,000部）	1,771	2,216	男女共同参画課
④男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供	年次報告書の発行	男女共同参画の推進状況と施策の実施状況をまとめた年次報告書を発行した。（1,500部）	1,337	1,337	男女共同参画課
合計			571,536	552,607	
※再掲を除く			571,536	552,607	

基本的な課題2 メディア・自治体の情報提供に関する留意

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
②男女の人権とりわけ女性の人権を侵害する情報に対する県民意識の醸成	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・DV 対策関係機関連携会議の開催 2回 ・啓発用リーフレット <ul style="list-style-type: none"> 一般啓発用リーフレット (5,000部) 高校生向けパンフレット (26,100部) 中学生向けパンフレット (68,000部) ・被害者向け DV 資料冊子 (400部) ・被害者向け DV 資料冊子<外国語版> (2,320部) ・DV 防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 3回 ・DV 防止出前講座 7回 ・デート DV 防止啓発講座 9回 ・デート DV 防止教育指導者研修会 1回 ・DV 加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 5団体 ・DV 被害者支援ボランティア育成講座開催委託4団体 	13,379	12,927	男女共同参画課
③不適切な性・暴力表現を扱ったメディアからの青少年等の保護	青少年健全育成条例等施行費	<ul style="list-style-type: none"> ・書店、コンビニ等の有害図書等区分陳列及び購入禁止表示状況調査を実施 ・図書等自動販売機届出制度(H23.4.1現在142台) ・図書等自動販売機設置業者等に対する指導を実施 ・埼玉県青少年健全育成推進プランの進行管理 	9,431	6,508	青少年課
	サイバー犯罪対策の推進	インターネット上の違法・有害情報をサイバーパトロール等で早期に把握することにより、インターネットに係る事件の取締り強化をするとともに、中学・高等学校等におけるセキュリティ講話(87回延べ28,049人に実施)及びリーフレットの配布により被害防止のための広報啓発活動を継続的に推進した。(統計値は平成23年中のもの)	-	-	サイバー犯罪対策課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り65件、39人を検挙、被害児童36人を保護 (統計値は平成23年中のもの)	-	-	少年捜査課
④男女共同参画の視点に立った表現の浸透	表現ガイドの普及促進	「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」により、普及啓発を行った。	6	6	男女共同参画課
合計			22,816	19,441	
※再掲を除く			22,816	19,441	

基本目標Ⅱ

政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

基本的な課題3 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①県における政策・方針決定過程への男女共同参画	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進	人事異動方針に女性の職域拡大と管理職への登用促進を定め、人事異動において実施。 年度 女性の職員 (%) 女性役付職員 (%) H18 32.6 13.3 H19 33.4 13.9 H20 34.0 14.7 H21 34.6 15.3 H22 35.4 16.3 H23 36.2 17.0 H24 36.9 17.5	-	-	人事課
	主な階層別研修	主な階層別研修 ・主査研修 修了者 248名	-	-	人事課
	人権施策推進費	平成14年3月に策定した「埼玉県人権施策推進指針」の目標年次は、「概ね平成23年までの10年間」とされていたことから、これまでの啓発・教育等の事業の成果を踏まえ、インターネット上の人権侵害などの新たな人権課題にも対応するため改定を行った。	4,041	2,100	人権推進課
	「審議会等への女性の登用促進要綱」の推進	目標値である女性の委員の割合40%の達成に向け、登用を引き続き促進した。 ・平成24年4月1日34.6% (平成23年4月1日35.9%)	-	-	男女共同参画課
	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進	女性職員の積極的な登用を図り、課長級職である久喜図書館副館長、副課長級の職である生涯学習文化財課副課長、家庭地域連携課副課長、総合教育センター教育主幹及び歴史と民俗の博物館首席学芸主幹に女性職員を配置するなど、実績・実力のある女性役付職員の登用を図った。教育局の女性役付職員は、97人であった。	-	-	教育局総務課
	女性の校長・教頭管理職への登用促進	女性管理職の登用に努めた。 H24年度登用数 ・公立高校：校長1 教頭2 ・特別支援学校：校長1 教頭4 ・県立中学校：校長0 教頭0 ・合計 校長2 教頭6	-	-	県立学校人事課
	女性の校長・教頭管理職への登用促進	女性管理職の積極的な登用に努めた。 (H24.4.1現在) (括弧内は H23.4.1現在の数値) 市町村立小学校 校長 107/713 15.0% (106/713 14.8%) 教頭 119/727 16.4% (118/730 16.1%) 市町村立中学校 校長 4/363 1.1% (5/364 1.3%) 教頭 20/376 5.3% (23/377 6.1%)	-	-	小中学校人事課
②市町村への支援	市町村連絡会議の開催	市町村男女共同参画行政担当へ男女共同参画関連事業の説明会を実施した。(参加者のうち、市町村職員数8名)	15	15	男女共同参画課
	市町村の体制整備と一層の取組の促進	男女共同参画に関する条例を制定している市町村数 ・平成24年4月1日現在 31市町村 男女共同参画に関する計画を策定した市町村数(累計) ・平成24年4月1日現在 63市町村	-	-	男女共同参画課
	市町村における女性の職域拡大・管理職への登用の働きかけ	市町村における女性の職域拡大と管理職への登用促進が図れるよう適宜働きかけをした。 ・女性の職員の割合 (4月1日現在) 平成23年度 36.8% → 平成24年度 37.2% ・女性の係長級以上職員の割合 (4月1日現在) 平成23年度 9.7% → 平成24年度 9.8%	-	-	男女共同参画課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
③事業所・各種団体の取組の支援・協力要請	さいたま輝き荻野吟子賞事業費	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、事業所：1事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集6,000部作成・配布	670	607	男女共同参画課
④積極的格差是正措置の具体化	女性チャレンジ総合支援事業費	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	さらなるステップアップのための女性チャレンジ支援事業費	・働く女性のチャレンジ相談 235件 ・働く女性のステップアップ講座の開催 講座14回 240人、講演会&交流会2回 57人、 グループ相談会3回 9人 ・働く女性のネットワークの創設 200人登録 ・女性からの政策提言講座 3回 65人	10,655	※女性チャレンジ総合支援事業費に統合	男女共同参画課
⑥政策・方針決定過程の透明性の確保	県民コメント制度の効果的な運用の推進	・24案件で、案を公表の上、広く県民から意見を募集した。 ・提出意見数 1,926件	-	-	広聴広報課
	県政出前講座(再掲)	・実施件数 831件 ・延べ参加者数 53,059人	-	-	広聴広報課
	広聴事業推進費	・知事への提言 3,217件 ・県政サポーター 登録者数 4,477人(うち女性2,229人・H24.4.2現在) アンケート 17回(17テーマ) ・県政世論調査 標本数 3,000、個別面接聴取法 課題調査 「自転車利用」「生涯学習」「買い物弱者」	9,370	8,271	広聴広報課
	情報公開制度の的確な運用	・公文書開示請求等の処理件数 11,638件	-	-	県政情報センター
	男女共同参画推進関連予算説明会の開催	平成23年6月6日 With You さいたまで開催 (参加者数 49名)	28	28	男女共同参画課
	合計			39,737	28,971
※再掲を除く			39,737	28,971	

基本目標Ⅲ

働く場における男女共同参画の推進

基本的な課題4 働く場における男女共同参画の推進

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進	さいたま輝き荻野吟子賞事業費（再掲）	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、事業所：1事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集6,000部作成・配布	670	607	男女共同参画課
	労働相談推進事業費	・労働相談 4,135件 ・労使調整 26件 ・インターネット労働相談 77件	3,281	2,872	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業	・働く人のためのワイド講座 59回	1,026	948	勤労者福祉課
	労働情勢調査事業（賃金関係調査）	中小企業賃金実態調査報告書の作成・配布、ホームページへの掲載	1,384	1,382	勤労者福祉課
	働きやすい職場環境づくり事業	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載	6,067	-	ウーマノミクス課
②女性が生き生きと能力を発揮できる就業の支援	女性チャレンジ総合支援事業費（再掲）	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	女性キャリアセンター運営費	1 利用者数 延べ8,191人 2 就職支援事業 (1) 個別相談事業 ・相談件数 2,922人 (2) 就職支援セミナー事業 ・182回 2,268人 (3) 出前セミナー・出前相談事業 ・142回 1,234人	23,566	17,468	男女共同参画課 ウーマノミクス課
	さらなるステップアップのための女性チャレンジ支援事業（再掲）	・働く女性のチャレンジ相談 235件 ・働く女性のステップアップ講座の開催 講座14回 240人、講演会&交流会2回 57人、グループ相談会3回 9人 ・働く女性のネットワークの創設 200人登録 ・女性からの政策提言講座 3回 65人	10,655	-	男女共同参画課
	女性医師就業支援対策費	出産や育児を契機に従来の勤務を継続することが困難になり、非常勤勤務へ変更するなど第一線から退く女性医師が多くなっている。 そこで、女性医師のライフステージに応じて、継続的な就業とスムーズな復職を実現するための就業支援策を講じた。 ・女性医師支援対策検討委員会の開催 (意見交換会含む) 2回 ・女性医師支援センターによる相談対応 (女医会埼玉県支部委託) 相談件数 15件 ・女性医師復職支援研修プログラムの策定 (埼玉医科大学総合医療センター委託) ・医療人育成支援プロジェクト・パネルディスカッション(埼玉医科大学主催)参加	13,817	6,564	医療整備課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	看護師職場復帰支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> 看護師等の資格を持ちながら働いていない県内約3万3千人の潜在看護師の復職を支援するとともに、病院の看護師不足を改善する。 復職希望者を雇用する病院に最大6か月の勤務研修を依頼し、その間の給与相当額を県で負担し、復職する看護師を支援する。 申込人数：復職希望者48人 給与相当額の支援：1人1か月25万円（6か月で150万円）を上限とし、病院には給与相当額を委託研修費として支払う。 受入対象病院：県内に所在する病院（国、地方自治体が設置する病院を除く）のうち、ワークライフバランスに配慮した勤務制度があり、研修指導者を確保できる病院 	114,301	98,177	医療整備課
	新人看護職員定着支援事業費	<ol style="list-style-type: none"> 新人看護職員研修事業費補助 125施設 新人看護職員合同研修の実施 教育担当者等に対する研修の実施 新人教育研修体系立案支援 	100,016	95,220	医療整備課
	看護職員就業支援事業費	<ol style="list-style-type: none"> ナースセンターにおいて無料職業紹介事業を実施 再就業技術講習会の実施 	12,851	12,457	医療整備課
	働くひとの人材育成教育事業（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 働く人のためのワイド講座 59回 	1,026	948	勤労者福祉課
	勤労者の心と身体の健康づくり推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 働く人のメンタルヘルス相談 45件 	928	600	勤労者福祉課
	埼玉県緊急求職者サポートセンター運営費	<ol style="list-style-type: none"> 利用者数 延べ8,798人 就職支援事業等 <ul style="list-style-type: none"> (1) キャリアカウンセリング 269人 (2) 生活相談 374人 (3) 住宅相談 39人 (4) 求職相談 4,453人 (5) 法律相談 86人 	38,666	-	就業支援課
	彩の国仕事発見システム管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 年間アクセス件数 835,176件 年度末有効事業所登録数 7,121件 年度末有効求人数 10,100件 	4,647	2,857	就業支援課
	ヤングキャリアセンター埼玉運営費、ヤングキャリアセンター埼玉就職支援事業費	<ol style="list-style-type: none"> 利用者数 延べ26,826人（女12,299人、男14,527人） 就職者数 2,351人（女1,313人、男1,038人） 就職支援事業等 <ul style="list-style-type: none"> (1) キャリアカウンセリング 5,405人（女2,461人、男2,944人） (2) セミナー 5,611人（女3,191人、男2,420人） (3) 心理カウンセリング 227人（女114人、男113人） 	57,886	66,315	就業支援課
	若者自立支援センター埼玉運営費、若者自立支援センター埼玉事業費	<ol style="list-style-type: none"> 利用者数 延べ5,690人 登録者数 431人（女142人、男289人） 就職等移行者数 233人 就業支援事業等 <ul style="list-style-type: none"> (1) 相談事業 1,775人 (2) グループワーク事業 631人 (3) 労働体験事業 451人 (4) セミナー 1,833人 (5) 保護者対象セミナー 187人 	16,117	15,885	就業支援課
	中高年齢者就業支援事業費	<ol style="list-style-type: none"> 中高年就職活動支援コーナー埼玉 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 延べ11,951人 相談件数 4,397件 就職支援セミナー 228回 5,625人 就職確認者数 776人 直営事業 <ul style="list-style-type: none"> 【彩チャレンジ応援講座、面接会、交流会】 実施回数 6回 参加者数 延べ1,458人 就職確認者数 57人 	69,755	110,502	就業支援課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	フリーター等就業体験事業	・10日間のプログラムを年間5回開催 社会人基礎力講座 5日間 就業体験 4日間 事後研修 1日間 ・参加者数 54人(女17人、男37人)	7,018	-	就業支援課
	働きやすい職場環境づくり事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載	6,067	-	ウーマノミクス課
	すぐに働きたい女性応援プログラム事業費	家計・生活維持のため速やかな就業を希望しながらも、具体的な就職活動に苦戦している女性の就業を支援する。女性と企業のニーズに沿った人材マッチングを実施する。 ・職業紹介カウンセリング利用者数 1,616人 ・就職支援セミナー 110回 1,011人 ・就職者数 806人	64,174	68,460	ウーマノミクス課
	認定訓練育成指導費	・補助実績 事業所数 20所、補助金額 36,056千円	36,128	30,708	産業人材育成課
	求職者対象訓練推進費	1 施設内訓練 ・募集定員 680人 ・応募者数 1,181人 ・入校者数 694人(うち女性数 101人) 2 訓練手当支給状況 ・支給額 76,579千円	304,823	329,029	産業人材育成課
	技能向上訓練推進費	在職者対象技能向上訓練 受講者数 2,410人(うち女性数 724人)	304,823	329,029	産業人材育成課
	産業人材育成総合支援事業	1 産業人材育成プラットフォーム事業 県内産業を担う人材の育成のため、関係機関の連携を推進する「産業人材育成プラットフォーム」を活用し、企業への技術・技能継承支援、若年無業者・女性・障害者等の就業支援やキャリア教育支援に取り組んだ。 ・若者と経営者の交流会の開催 7回 ・職業訓練コース合同説明会の開催 12回 2 産業人材育成支援情報ネットワーク事業 関係機関の人材育成情報の総合ポータルサイト「産業人材育成支援情報ネットワーク」を運営し、情報発信した。 ・平成23年度累計アクセス件数 257,038件	21,071	15,265	産業人材育成課
	母子家庭の母等の職業的自立促進事業	母子家庭の母等の雇用促進に資するため、民間教育訓練機関等の委託先を活用し、キャリアカウンセリング及び準備講習付きの職業訓練を実施した。 ・19講座 ・受講者数 60人	1,365,645	1,729,547	産業人材育成課
	女性の再就職支援訓練事業	子育て等に伴う職業上のブランクに不安を抱えている女性の再就職を支援するため、民間教育訓練機関等の委託先を活用し、託児サービス付の職業訓練を実施した。 ・託児サービス付講座 17講座 ・受講者数 262人 (うち託児サービス利用者数 47人)	1,365,645	1,729,547	産業人材育成課
	地元企業魅力発信事業費	インターネットで地元企業の魅力を発信するサイト「埼玉県内魅力企業紹介システム」において、県内企業のPRを行うとともに、「働くおもしろさ」や「先輩からのメッセージ」などの情報や、インターンシップなどの取組、社員募集などの情報を発信し、就業マッチングやキャリア教育支援等に活用している。 ・平成23年度に42社の情報を新規掲載	-	-	産業人材育成課
	高校生針路選択オリエンテーション事業	・進路意識啓発講演会の実施 生徒が主体的、適切に自分の進路を選択できるよう、進路意識を深めるため、社会人などを外部講師として迎え、進路関係講演会を実施する。	3,135	2,090	高校教育指導課
	県立高校教育活動総合支援事業(就職支援アドバイザーの派遣)	企業等での経験等を積んだ専門的知見を有する社会人を、高校生就職支援アドバイザーとして県立高校に配置し、高等学校における就職指導の充実を図るとともに、生徒の望ましい職業観・勤労観を育成する。	16,557	14,791	高校教育指導課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
③多様な就業ニーズを踏まえた就業環境の整備	平成23,24年度の建設工事に係る入札参加資格付の審査	子育て支援の促進 次の者を格付審査において加点する。(平成24年4月1日付け登録) ①「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」の策定・届出等をした者 3,249社中194社 ②「育児休業、介護休業等育児又は家庭介護を行う労働者の福祉に関する法律」の規定を上回る育児制度を就業規則等で規定・届出した者 3,249社中138社 ※①・②両方の者 3,249社中64社	-	-	入札審査課
	NPO 運営力強化・育成支援事業費	・地域講座 5月～3月に7回開催、309人	4,845	-	共助社会づくり課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	中小企業イノベーション支援事業	県内女性企業家・経営者を対象にセミナーを開催することで、経営資質の向上を図り、本県経済の活性化を促進する。 ・埼玉県女性経営者支援セミナー開催 1回73人	100	100	産業支援課
	起業家育成資金	・融資利用実績 1,018件 4,308,700千円	3,417,497 (制度融資全体の利子補給予算額)	3,468,566 (制度融資全体の利子補給予算額)	金融課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	・働く人のためのワイド講座 59回	1,026	948	勤労者福祉課
	働きやすい職場環境づくり事業(再掲)	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載	6,067	-	ウーマノミクス課
④商工業等に携わる女性の経営・地域社会への参画促進	女性部活動推進費事業費補助	商工会・商工会議所女性部における研修会、講習会、交流会開催 8回 延べ737人参加 広報紙「女性部だより第37号」発行 8頁 5,750部	2,304	1,997	産業労働政策課
⑤農林業に携わる女性の農業経営・地域社会への参画促進	JA 埼玉県女性組織協議会補助	地域女性の地位向上、農家生活の改善合理化に資するため、JA 埼玉県女性組織協議会の活動へ補助した。	150	150	農業政策課
	経営体育成条件整備事業のうち推進事業	認定農業者等、地域の担い手となる農業経営体の育成・確保を図るため農産物直売や農産物加工等の研修会を行った。	3,672	3,120	農業ビジネス支援課
	中山間地域ふるさと事業のうち啓発・普及活動	「魅力ある農業・農山村づくり検討委員会」が魅力ある地域づくりへの提案を行った。 開催回数 2回	2,150	2,150	農業ビジネス支援課
	農業改良団体等育成事業費	・農業研究団体連合会アグリ女性部実践活動研修会 1回 ・米消費拡大料理講習会の開催 4地区	730	730	農業支援課
	普及活動推進事業	・家族経営協定の締結 28件 ・さいたま農村女性アドバイザーの認定 6人 ・女性農業者の起業数 180件	6,243	5,998	農業支援課
合計			7,446,445	8,200,927	
※再掲を除く			7,397,085	8,162,524	

基本目標Ⅳ

家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

基本的な課題5 男女の家庭生活と職業生活・地域活動との両立支援

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①子育て・介護の社会的支援	女性（婦人）相談員設置費	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,108	24,237	男女共同参画課
	豊かな地域福祉づくり推進事業費	1 地域福祉に関する市町村との意見交換会 2 豊かな地域福祉づくり助成事業補助 3団体 3 シラコバト長寿社会福祉基金寄附者への感謝状・協力証贈呈	7,364	7,291	福祉政策課
	福祉人材センター運営事業費	1 福祉人材無料職業紹介事業 2 求職者講習会事業 3 人材確保相談事業 4 啓発・広報・情報サービス事業 5 センター運営委員会	39,896	41,076	社会福祉課
	福祉ボランティア活動支援事業費	1 ボランティアセンター支援事業 ・埼玉県ボランティアセンター支援事業 2 ボランティア普及・啓発・支援事業 ・ボランティア体験学習事業 ・福祉ボランティア・福祉教育啓発事業	27,137	24,938	社会福祉課
	埼玉県高齢者支援計画の推進	高齢者の福祉・介護に関する支援を推進するため、「埼玉県高齢者支援計画」（計画期間：平成24～26年度）を策定した。	2,481	2,184	高齢介護課
	軽費老人ホーム運営助成費	居宅で生活が困難な高齢者の生活の場を確保するため、入所者の所得に応じて軽費老人ホームが減免するサービスの提供に要する費用に対し補助を行う。 補助施設数 69施設	1,811,972	1,787,195	高齢介護課
	老人福祉施設整備助成費	特別養護老人ホーム整備助成費 24施設	3,790,914	3,837,680	高齢介護課
	介護老人保健施設整備利子補助	介護老人保健施設利子補助 71施設	383,420	345,014	高齢介護課
	介護保険制度運営推進事業費	・介護保険審査会運営 請求件数 146件 ・認定調査従事者研修 1,283人 ・認定審査会委員研修 845人 ・主治医意見書研修 225人 ・介護認定審査会運営適正化研修 87人	18,784	16,458	高齢介護課
	あんしん介護推進事業費	医療と介護連携強化事業 ・医療と介護の連携に関する研修会 1回 282人 ・在宅医療研修会 1回 308人	3,873	510	高齢介護課
	認知症ケア支援事業費	1 認知症介護研修 ・実践者研修 修了者数：299人 ・実践リーダー研修 修了者数：22人 ・管理者研修 修了者数：145人 ・計画作成担当者研修 修了者数：35人 ・開設者研修 修了者数：12人 2 認知症地域医療支援事業 ・サポート医の養成 10人 ・かかりつけ医研修 51人 3 認知症理解普及促進事業 ・電話相談、交流集会、講演会の開催	13,288	10,923	高齢介護課
	介護サービス支援事業費	介護保険サービス利用料軽減事業 37市町村 （利用者負担を軽減する制度により軽減を実施した市町村に対する補助）	36,201	17,560	高齢介護課
	母子福祉センター管理運営事業費	ひとり親家庭の福祉の向上を図るため、埼玉県母子福祉センターを運営し、母子家庭の母を対象としたパソコン教室、就業支援講習及び就業や養育費等に関する相談を実施した。 パソコン教室 6回 就業支援講習 2回 相談件数 3,749件（うち父子家庭9件）	14,055	12,206	少子政策課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	児童扶養手当給付費	離婚などで父(又は母)と生計を同じくしていない児童を監護(養育)している母(又は父、養育者)に対し児童扶養手当を支給した。 受給者数(24年3月末) 3,875人(町村) うち父子家庭 210人	1,823,901	1,890,421	少子政策課
	女性(母子)相談員設置費	福祉事務所等に配置した女性相談員により、母子家庭等の自立に向けた総合的な支援を行った。 相談件数 21,246件(うち父子家庭46人)	51,777	52,117	少子政策課
	ひとり親家庭福祉推進事業費	中学校入学を迎える児童を養育するひとり親家庭に対し支度金を支給した。 給付人数 1,693人	17,724	17,904	少子政策課
	母子・寡婦福祉資金貸付費	母子家庭及び寡婦に対し、就業、就学等必要な資金の貸付を行った。 貸付金額・件数 666,372千円 1,265件	987,990	133,034	少子政策課
	母子家庭等交流・生活支援モデル事業	生活の不安や悩みを抱えながら、地域で孤立しがちな母子家庭を中心とするひとり親家庭に対して、当事者団体である母子寡婦福祉連合会のマンパワーやノウハウを活用し、地域における交流会や、子育てや生活に関する相談会の開催を通じて、同じ立場の者の目線で相談支援を行い、地域におけるひとり親家庭の見守り体制を整備した。 参加者 1,115人	8,271	8,271	少子政策課
	地域児童健全育成推進事業費	・児童福祉週間の啓発(例年5月1日～5月10日) ・児童健全育成関係者専門研修等 2回 ・ファミリー・サポート・センターアドバイザー研修 1回 ・ファミリー・サポート・センター数 51か所	368	324	少子政策課
	放課後児童健全育成事業費	放課後児童クラブの運営にかかる経費の助成 840クラブ	2,538,081	2,841,306	少子政策課
	放課後児童クラブ施設整備費	新設整備及び既存施設の改修整備による放課後児童クラブの整備にかかる経費の助成 17クラブ	286,720	413,340	少子政策課
	放課後児童クラブ等施設環境向上事業費	放課後児童クラブ及び地域子育て支援拠点の設置促進や安全の確保並びに生活環境等の改善を図るため、市町村に対し、経費の一部を助成する。 1 放課後児童クラブ設置促進事業 15か所 2 地域子育て支援拠点開設準備等支援事業 10か所	400,000	-	少子政策課
	埼玉県次世代育成支援対策推進協議会運営費	埼玉県次世代育成支援対策推進協議会の開催 内容：埼玉県子育て応援行動計画の進捗状況等に関する協議など	991	873	少子政策課
	次世代育成支援対策推進事業費	父親の育児を推進するため、男性によるプロジェクトチームを立ち上げ、父親の育児スタイルを検討し、誰でも取り組める育児のヒント集「イクメンの素」を作成した。 30,000部作成 父親の子育て意識の向上を図るため、お父さん応援講座をNPOとの連携により実施した。 7回開催	3,400	830	少子政策課
	地域子育て支援拠点設置促進事業費	地域子育て支援拠点の運営費の助成 43か所	45,644	38,573	少子政策課
	地域子育て支援拠点緊急整備事業	地域子育て支援拠点の設置及び改修にかかる経費の助成 3か所	17,760	11,840	少子政策課
	児童福祉行政事務費	・関係機関、団体等との連絡調整 ・少子化対策施策推進のための経費 ・各事業の円滑な実施のために要する経費	14,309	13,146	少子政策課
	地域子育て応援タウン推進事業費	地域子育て応援タウンの認定を促進するため、応援タウンの機能を支える人材育成やネットワークづくりなどの事業を促進する。 23年度末 全市町村認定	2,862	-	少子政策課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	パパ・ママ応援ショップ事業費	中学生までの子どもを持つ家庭及びこれから出産予定の家庭が「優待カード」を提示することで、協賛企業・店舗、施設等から割引などの特典の提供を受けられる。協賛店舗の拡大、子育て家庭への周知を図った。19年5月から市町村と共同で順次、事業開始。 20年3月末協賛店舗数 6,048店 21年3月末協賛店舗数 8,721店 22年3月末協賛店舗数 12,020店 23年3月末協賛店舗数 13,901店 24年3月末協賛店舗数 15,141店	6,250	44,991	少子政策課
	高齢者子育て支援事業費	様々な地域貢献活動を行っている元気な高齢者に、放課後児童クラブにおいて、本の読み聞かせ、昔話、宿題の指導等により情操教育と学力向上のための習慣づけを行ってもらい、子どもたちの放課後の生活の充実を図るとともに、高齢者の生きがいづくりに資する。	4,390	-	少子政策課
	保育サービス施設整備事業費	駅前等の利便性に着目した保育施設の整備や認可外保育施設の認可化移行を促進するなど多様な保育サービスを提供する。 ・駅前等保育サービス提供施設開設準備費補助 0所 ・駅前等保育サービス提供施設等賃借料補助 0所 ・認可化移行促進事業 1所 ・駅前等家庭保育室開設準備費補助 1所	58,250	58,250	子育て支援課
	保育関係団体補助	埼玉県保育士会、埼玉県保育協議会が行う研修等に対する補助	200	200	子育て支援課
	保育所地域子育て支援事業費	特定保育事業 52所 休日保育事業 20所 病児・病後児保育事業 33所 保育所体験特別事業 6事業 延長保育促進事業 383所	1,841,176	1,869,953	子育て支援課
	保育所運営費負担金	416保育所	5,199,312	5,692,730	子育て支援課
	安心・元気！保育サービス支援事業費	保育所における各種サービスに対する助成 ・一歳児担当保育士雇用費 5,164人 ・乳児途中入所促進事業費 1,471人 ・障害児保育事業費 75人 ・アレルギー等対応特別給食提供事業費 195か所	682,800	816,120	子育て支援課
	家庭保育室等運営事業費	家庭保育室（企業等が設置する企業内保育施設で従業員の児童に加えて地域の児童を受け入れる施設を含む）に対し、0～2歳児の保育に必要な経費を助成する。3,175人	234,423	300,100	子育て支援課
	保育対策緊急整備事業費	保育所の整備や、認定こども園等の新たな保育需要への対応及び保育の質の向上のための研修などを実施し、子どもを安心して育てることができる体制づくりを行う。2,618人	4,394,213	4,527,424	子育て支援課
	病児一時預かり保育室整備事業費	医療機関等が、病児・病後児保育を整備する場合、これに要する経費の一部を補助する。0所	4,160	4,160	子育て支援課
	児童相談所費	相談受付件数 14,221件	295,133	283,571	こども安全課
	母子生活支援施設・助産施設児童保護措置費	県内6母子生活支援施設等で実施	64,639	63,755	こども安全課
	児童家庭支援センター運営事業費	県内3施設で実施	31,257	31,186	こども安全課
	乳幼児医療対策助成費	乳幼児に係る各種医療保険の一部負担金を助成した市町村（さいたま市を除く）に対し、当該経費の1/2（財政力指数が1を超える場合は、5/12又は1/3）を補助した。 ・対象市町村 62 ・平成24年3月1日現在受給対象者数 302,387人 ・補助金額 2,279,124千円	2,473,292	2,612,466	国保医療課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	ひとり親家庭等医療対策助成費	ひとり親家庭等に係る各種医療保険の一部負担金を助成した市町村に対し、当該経費の1/2（財政力指数が1を超える場合は5/12又は1/3）を補助した。 ・対象市町村 63 ・平成24年3月現在受給者 103,135人 ・補助金額 879,492千円	964,318	1,037,742	国保医療課
	小児救急電話相談事業費	子どもの休日・夜間における突発的な傷病に対する保護者の不安を解消するとともに、適切な受療行動を誘導することにより救急病院等への軽症患者の集中を緩和するため、看護師による電話相談を実施した。 ・相談件数32,156件（1日平均87.9件）	22,320	46,872	医療整備課
	小児救急環境整備推進事業費	1 小児救急地域医師研修事業 内科医等に小児救急の実践的な研修を実施。 修了者数 40人 2 こどもの健康、みんなで支え愛事業 ・子育て関係NPO団体等の小児救急研修会への支援 NPO団体等による研修会実施回数 30回 ・「子どもの救急ミニガイドブック」の作成・配布 作成部数 58,000部(母子健康手帳サイズ)	4,277	3,670	医療整備課
	親と子の心の健康づくり事業	・健康相談 13保健所 延回数 190回 ・小児精神保健医療推進連絡会議又は研修会等 計69回	22,763	13,124	健康長寿課
	企業内保育所の設置促進	企業等が従業員の児童のために設置する企業内保育所に係る整備費等を補助する。80人	50,000	57,500	ウーマノミクス課
	県営住宅入居者公開抽選における当選率の優遇	県営住宅の定期募集の抽選の際に母子世帯に加えてDV被害者世帯についても、一般の世帯に比べて当選率を高く設定する。	-	-	住宅課
	子育て世代向け住宅支援事業費	・子育てに配慮したマンションの認定 923戸	7,437	925	住宅課
	家庭教育支援研修会（乳幼児期）	家庭教育アドバイザー・子育て支援行政担当職員等を対象にした資質向上のための研修会 1日間 42人（男 5人、女 37人）	44	44	総合教育センター
	家庭教育支援研修会（青少年期）	家庭教育アドバイザー・子育て支援行政担当職員等を対象にした資質向上のための研修会 1日間 48人（男 4人、女 44人）	14	12	総合教育センター
	生涯学習専門研修（子育て相談スキルアップ研修会）	家庭教育アドバイザーや電話相談員等の資質向上を図る研修会（講義・演習・事例発表など） 1日 37人（男 1人、女 36人）	10	10	総合教育センター
	家庭教育支援推進事業	・家庭教育アドバイザーの養成 養成研修：1会場、8日間、64人（男性6人、女性58人）が家庭教育アドバイザーに登録 移行研修：5回実施、82人（男性6人、女性76人）が家庭教育アドバイザーに登録 ・家庭教育アドバイザー派遣 306回 ・「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用73,000部	2,490	7,081	家庭地域連携課
②家庭と仕事・地域活動の両立に関する意識啓発の推進	さいたま輝き荻野吟子賞事業費（再掲）	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、事業所：1事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集6,000部作成・配布	670	607	男女共同参画課
	働くひとの人材育成教育事業（再掲）	・働く人のためのワイド講座 59回	1,026	948	勤労者福祉課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	働きやすい職場環境づくり事業（再掲）	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・子育て応援宣言企業の登録件数 3,071社 ・企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー 2回、参加者計138名	6,067	-	ウーマノミクス課
	小中学校キャリア教育総合推進事業	・進路指導・キャリア教育に係る研究協議会 ・家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施 ・進路指導・キャリア教育指導リーフレットの作成、配布	3,720	3,690	義務教育指導課
③仕事と家庭・地域活動の両立しやすい職場環境の整備の促進	利用しやすいバス網の整備	1 バス路線維持対策費 ・生活維持路線確保対策費補助 78,377千円 10市町村、1団体 2 超低床ノンステップバス等導入促進費補助19,317千円 6団体	97,868	86,704	交通政策課
	既設鉄道路線の利便の向上	1 県内既設鉄道整備促進費 ・鉄道安全輸送設備整備費補助 43,110千円 ・交通政策懇談会 108千円 出席者：鉄道事業者、バス事業者、知事等	43,232	49,899	交通政策課
	公共交通機関のバリアフリー化の推進	1 超低床ノンステップバス等導入促進費補助 19,317千円 6団体 2 みんなに親しまれる駅づくり事業 118,900千円 7市町に補助	157,904	94,890	交通政策課
	さいたま輝き荻野吟子賞事業費（再掲）	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 ・個人：2名、事業所：1事業所 ・募集リーフレット6,000部、事例集6,000部作成・配布	670	607	男女共同参画課
	社会福祉施設人材定着化事業	1 キャリアアップ事業 ・職員の専門資格取得促進支援 ・基幹職員の養成・職員のスキルアップ支援 2 子育て支援事業 ・産休等代替職員費補助金事業 ・育児短時間勤務等の推進	46,440	47,063	社会福祉課
	病院内保育所運営費補助	保育所設置者へ補助金の交付 ・補助対象施設 110施設	294,647	302,780	医療整備課
	勤労者制度融資貸付事業（子育て支援資金：育児）	子育て支援資金うち育児費用 0件	23,192	12,445	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業（再掲）	・働く人のためのワイド講座 59回	1,026	948	勤労者福祉課
	働きやすい職場環境づくり事業（再掲）	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・子育て応援宣言企業の登録件数 3,071社 ・企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー 2回、参加者計138名	6,067	-	ウーマノミクス課
	妊娠教員体育代替非常勤講師事業	平成23年度採用実績 小学校：14人、中学校：5人	2,859	2,857	小中学校人事課
産休代替教職員連絡引継事業	平成23年度採用実績 小学校：154件、中学校：52件	2,416	2,416	小中学校人事課	
④家庭生活における男女共同参画の促進	青少年総合野外活動センター主催事業	県内在住の親子等を対象に、ハイキングや野外活動など、自然と触れ合う機会の提供 79回開催	-	-	青少年課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	家族の絆づくり促進事業	・「家庭の日」ポスター募集 応募5,430点 ・家族ふれあいキャンペーンの実施 ・マスメディア等を通じての広報活動	-	-	青少年課
	消費者団体活動促進費	・消費者大会の開催に対し、事業補助金を交付した。 ・消費者団体(3団体)に対し、活動費補助金を交付した。	605	544	消費生活課
	消費者啓発事業費	・消費生活講座(初級・上級)の開催 ・対象別講座(若年者・教職員・中高年者)の開催 ・情報紙(彩の国くらしレポート)の発行 ・埼玉県金融広報委員会の支援 ・市町村生活設計推進事業の支援 ・環境にやさしい消費生活講座の開催 ・ホームページ、メールマガジンの配信	5,174	4,832	消費生活課
	消費者行政活性化補助事業	・消費生活相談窓口の機能強化等、市町村が行う消費者行政活性化のための事業に補助を行った。 ・59市町村で実施 ・実績額142,668千円	196,000	148,968	消費生活課
	家庭教育支援推進事業(再掲)	・埼玉県家庭教育アドバイザーの養成 養成研修:1会場、8日間、64人(男性6人、女性58人)が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 移行研修:5回実施、82人(男性6人、女性76人)が埼玉県家庭教育アドバイザーに登録 ・埼玉県家庭教育アドバイザー派遣 306回 ・「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用73,000部	2,490	7,081	家庭地域連携課
⑤地域活動における男女共同参画の促進	彩の国コミュニティ活動推進事業費	・地域推進団体への助成 50団体へ4,500千円 ・コミュニティ活動の顕彰 シラコバト賞222件 あしたのまち・くらしづくり 活動賞5件	8,471	7,633	共助社会づくり課
	県民活動総合センター管理事業費	・センター利用人数 738,475人、利用率 67.4%	303,370	288,283	共助社会づくり課
	NPO元気なまちづくり助成事業費	・運営委員会の設置・運営 委員6人、委員会2回 ・NPOへの助成 (1)活動拠点の整備事業 応募2件 助成金交付1件 (2)地域資源の活用事業 応募1件 助成金交付0件	10,278	10,318	共助社会づくり課
	NPO活動促進助成事業費	・運営委員会の設置・運営 委員8人、委員会7回 ・NPOへの助成 (1)NPO活動サポート事業 (NPO法人が実施する独創的、先駆的な事業が対象) 応募26件 助成金交付9件 (2)みんなでサポート事業 (埼玉県NPO基金の登録団体のうち当該団体を希望する寄附金があった団体対象) 応募21件 助成金交付21件	31,448	46,223	共助社会づくり課
	NPO活動普及・促進事業費	・埼玉県NPO懇話会の設置・運営 委員10人、年2回開催 ・NPO法人の認証状況 認証件数 184件 ・NPOと企業との連携 NPOと企業の協働フォーラムの開催 11月に1回開催で88人参加 ・NPOと大学との連携 (1)NPO・大学ネットワーク発会式開催 ・NPO情報ステーションの運営 トップページ年間アクセス数 90,543件	3,333	6,976	共助社会づくり課
	彩の国市民活動サポートセンター運営事業費	・利用者数 15,483人 ・法人設立等相談件数 179件	-	-	共助社会づくり課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	NPO 運営力強化・育成支援事業費(再掲)	・地域講座 5月～3月に7回開催、309人	4,845	－	共助社会づくり課
	青少年育成推進員委嘱費	・青少年育成推進員の配置 ・青少年育成県民運動の普及など	925	1,016	青少年課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	さらなるステップアップのための女性チャレンジ支援事業(再掲)	・働く女性のチャレンジ相談 235件 ・働く女性のステップアップ講座の開催 講座14回 240人、講演会&交流会2回 57人、 グループ相談会3回 9人 ・働く女性のネットワークの創設 200人登録 ・女性からの政策提言講座 3回 65人	10,655	－	男女共同参画課
	埼玉県交通安全母の会連合会補助	埼玉県交通安全母の会連合会への助成	1,620	1,620	防犯・交通安全課
	「減らそう犯罪の日」一斉パトロール実施事業費	・防犯のまちづくり出前講座 実施回数278回、受講者数14,424人 ・自主防犯パトロールの現地指導 実施回数79回、参加者数3,015人	1,850	1,739	防犯・交通安全課
	福祉ボランティア活動支援事業費(再掲)	1 ボランティアセンター支援事業 ・埼玉県ボランティアセンター支援事業 2 ボランティア普及・啓発・支援事業 ・ボランティア体験学習事業 ・福祉ボランティア・福祉教育啓発事業	27,137	24,938	社会福祉課
	学校応援団推進事業	地域住民や保護者がボランティアとして学校の教育活動を支援する「学校応援団」づくりを推進した。 ・小学校における組織率 100% (平成24年2月現在)	18,995	17,173	家庭地域連携課
	青少年げんき・いきいき体験活動事業	ボランティア指導者養成事業 2か所 5回 114人	351	0	生涯学習文化財課
	社会教育関係団体(埼玉県地域婦人会連合会)運営費補助金	・リーダー研修会1回 ・くらしの教養大学1講座 ・県婦連広報発行2回	730	730	生涯学習文化財課
合計			30,067,498	30,213,015	
※再掲を除く			29,991,887	30,159,936	

基本的な課題6 高齢者等が生き生きと生活できる支援

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①高齢者が生き生きと生活できる支援	消費者啓発事業費(再掲)	・消費生活講座(初級・上級)の開催 ・対象別講座(若年者・教職員・中高年者)の開催 ・情報紙(彩の国くらしレポート)の発行等	5,174	4,832	消費生活課
	介護すまいる館事業費	・展示品目 約1,000点 ・企画展・研修会開催回数 11回	11,321	15,098	高齢介護課
	高齢者いきいきライフ推進事業費	・老人ホーム入居者創作展の開催 ・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団派遣 ・彩の国プラチナフェスティバルの開催	8,034	7,472	高齢介護課
	高齢者社会活動推進事業費	彩の国生きがい大学の運営等 ・一年制 6学園 ・一年制【専科】 2学園 ・二年制 4学園	100,525	96,878	高齢介護課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	団塊世代の社会活動支援	1 大学によるリカレント教育の推進 県内や近隣の16大学と協力して、団塊世代や高齢者の方々を対象に、開放授業講座を実施 2 アクティブライフ支援隊の養成 要介護高齢者の生活を支援するため、介護保険にないサービスを提供するボランティアを養成 彩の国いきがい大学で研修実施：修了者1,046名	-	-	高齢介護課
	認知症ケア支援事業費（再掲）	1 認知症介護研修 ・実践者研修 修了者数：299人 ・実践リーダー研修 修了者数：22人 ・管理者研修 修了者数：145人 ・計画作成担当者研修 修了者数：35人 ・開設者研修 修了者数：12人 2 認知症地域医療支援事業 ・サポート医の養成 10人 ・かかりつけ医研修 51人 3 認知症理解普及促進事業 ・電話相談、交流集会、講演会の開催	13,288	10,923	高齢介護課
	介護サービス支援事業費（再掲）	介護保険サービス利用料軽減事業 37市町村 （利用者負担を軽減する制度により軽減を実施した市町村に対する補助）	36,201	17,560	高齢介護課
	あんしん介護推進事業費（再掲）	医療と介護連携強化事業 ・医療と介護の連携に関する研修会 1回 282人 ・在宅医療研修会 1回 308人	3,873	510	高齢介護課
	若年性認知症対策等推進事業費	・企業関係者等を対象とした研修を開催 1回 105人 ・認知症サポーター養成促進、キャラバン・メイト養成キャラバン・メイト養成研修 2回 221人 ・埼玉県認知症施策推進会議の開催 ・埼玉県市町村認知症連絡会を開催 1回 89人 ・認知症介護家族支援事業 市町村における認知症家族会の立ち上げを支援	3,402	1,759	高齢介護課
	後期高齢者医療制度の運営	平成20年4月から施行された後期高齢者医療制度について、その運営が健全かつ円滑に行われるように負担金の交付及び基金の積み立てを行った。 1 後期高齢者医療対策費 43,426,019千円 1 定率負担金 36,296,858千円 2 高額医療費負担金 1,631,745千円 3 不均一保険料負担金 6,846千円 4 保険基盤安定事業費負担金 5,486,353千円 5 老人保健医療対策費 4,217千円 2 後期高齢者医療財政安定化基金 1,408,786千円	44,930,878	50,176,830	国保医療課
	シルバー人材センター総合支援事業費	・シルバー人材センター連合に対する補助 ・全国シルバー人材センター事業協会への会費納入 ・各市町村シルバーへの業務検査 17団体	12,510	11,111	就業支援課
	高齢者快適居住促進事業	・高齢者向け優良賃貸住宅の認定（57戸） ・高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助の実施（36戸）	1,809	1,161	住宅課
	県営住宅地域の安心支援事業	県営住宅敷地を活用して、民間活力の導入によって地域に開かれた高齢者支援サービスや子育て支援サービス等の拠点施設を整備し、団地及び周辺地域の住民が住みなれた地域で安心して暮らせる環境を創出する。なお、民間事業者は公募により選定する。	4,151	0	住宅課
②特別な配慮を必要とする人への支援	公共交通機関のバリアフリー化の推進（再掲）	1 超低床ノンステップバス等導入促進費補助 19,317千円 6団体 2 みんなに親しまれる駅づくり事業 118,900千円 7市町に補助	157,904	94,890	交通政策課
	地域支え合いの仕組み推進事業費	・一石三鳥の効果のある「地域支え合いの仕組み」を実施する事業に対して、運営費の一部を助成するなど、仕組みを普及・拡大していく。 実施箇所 32市町	37,089	36,945	共助社会づくり課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	福祉のまちづくり普及推進事業費	○福祉のまちづくりの普及啓発 ・障害者用駐車場マナーアップキャンペーン ・県民との協働によるキャンペーンの実施 ・街で見かける障害者に関するマークのバス広告 ・福祉のまちづくり県ウェブサイトの運営 ○福祉のまちづくり推進協議会(2回開催) ○福祉のまちづくりの推進に関するヒアリング(1回開催) ○公共交通機関の施設、路外駐車場等に係る新築等の届出の受理、指導助言 (公共交通機関の施設 9件、路外駐車場 15件)	3,670	6,930	福祉政策課
	支え合いまちづくり推進事業費	・地域福祉活動の調整担当者の配置や地域の関係機関・団体による連絡協議会の開催などにかかる経費を、市町村に補助する。 補助市町村数 1市	9,900	14,850	福祉政策課
	埼玉県地域福祉支援計画推進事業費	1 埼玉県地域福祉推進委員会を4回開催し、「埼玉県地域福祉支援計画(平成24年～26年)」を策定 2 コミュニティソーシャルワーク統括担当者養成研修の開催(1回開催24市町村33人参加) 3 福祉分野のコミュニティ・ビジネス研修の開催	2,165	1,898	福祉政策課
	豊かな地域福祉づくり推進事業費(再掲)	1 地域福祉に関する市町村との意見交換会 2 豊かな地域福祉づくり助成事業補助 3団体 3 シラコバト長寿社会福祉基金寄附者への感謝状・協力証贈呈	7,364	7,291	福祉政策課
	発達障害児・者の理解促進啓発事業	・早期の気付きと子供の状況に応じた支援を示した冊子等を作成・配布(4種類計57万4千部) ・理解啓発セミナーの開催(2回、計1,800人参加)	17,190	2,667	福祉政策課
	発達障害児支援人材育成事業	・市町村に発達支援マネージャーを育成(166人受講) ・保育所・幼稚園・地域子育て支援センターに発達支援サポーターを育成(1,580人受講) ・医療・療育の専門職に対する研修を実施(延べ995人受講)	29,077	33,008	福祉政策課
	発達障害児・者親支援事業	・愛情豊かで伝統的な子育てを学ぶ講座を開催(21回290人受講) ・発達障害の子供を持つ親が子育ての経験を生かした相談や助言を実施(22人養成)	7,359	4,221	福祉政策課
	中核発達支援センター整備事業	発達障害児・者の診療・療育の受入拡大策等を検討(4回開催)	927	1,172	福祉政策課
	子ども発達支援巡回事業	・臨床心理士などからなる発達障害の専門知識を有する者が、保育所等を巡回し、保育士等に対して発達障害児等及びその保護者への支援手法についての助言・指導を行う。 ・医療型障害児入所施設に医師・看護師等を1名ずつ配置し、発達障害児等の診療・療育を行う中核発達支援センターを整備(2か所整備)	53,145	84,744	福祉政策課
	就労・自立支援対策事業	県福祉事務所に就労・自立支援相談員を配置した。就労相談や求職情報の提供など就労支援を実施するとともに、病状が軽快しても退院先が確保できない患者の退院促進などより良い居宅生活が送れるための援助を実施し、自立支援を推進した。	37,564	42,260	社会福祉課
	精神障害者社会適応訓練事業費	精神障害者を一般の事業所に通わせ、対人関係能力、環境適応能力等の向上を図る訓練を行った。	11,967	7,847	障害者福祉推進課
	総合リハビリテーションセンター運営費	障害者の更生相談の実施、医学的診断、評価、治療、障害者の入所(通所)による訓練、義肢・補装具の作成修理	1,368,259	1,458,477	障害者福祉推進課
	精神保健福祉センター運営費	県内の精神保健福祉の中核施設である精神保健福祉センターを運営し、精神保健福祉の向上を図った。	100,525	99,599	障害者福祉推進課
	障害児(者)福祉施設等施設整備費	施設整備施設 4施設	222,658	1,139,475	障害者自立支援課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	精神障害者小規模作業所運営費等補助 (地域活動センター(精神小規模型)運営費補助)	作業等を通じて精神障害者の作業能力や生活能力の向上を図る小規模作業所の運営費や設備整備費を補助する。 補助対象 精神障害者小規模作業所 10箇所 地域活動支援センター(精神小規模型) 18箇所	49,916	42,040	障害者自立支援課
	心身障害者地域ケア施設助成費	・心身障害者地域ケア施設68箇所 ・地域活動支援センター(地域ケア型) 21箇所	962,364	444,646	障害者自立支援課
	グループホーム等事業助成費	生活ホーム42か所、グループホーム・ケアホーム383か所	941,136	1,212,874	障害者自立支援課
	障害者就労支援事業費 (障害者就労支援センター設置促進)	・障害者就労支援センター等運営費補助 15市町 平成23年設置の開拓数 2市町	22,500	22,500	就業支援課
	障害者就労支援事業費 (連絡協議会、ジョブ・サポーター研修)	県内障害者就労支援センターや行政機関などで連絡協議会を設置し、情報交換や連携策の検討等を行い、支援体制の強化を図る。 ・会議4回、分科会1回開催 ・ジョブサポーター研修 年間2回開催 参加者計192人	400	400	就業支援課
	障害者雇用サポートセンター運営費	企業への働きかけを強化して、障害者雇用の場の創出に重点的に取り組む。 ・相談企業数 1008件 ・雇用の提案企業数 466社 ・情報交換会開催数 12回 ・企業見学会開催数 46回	42,144	35,528	就業支援課
	障害者雇用推進事業費 (障害者雇用開拓推進)	障害者雇用開拓員を5人配置し、企業経営者に直接交渉して積極的に雇用の受け皿づくりを行う。 ・本採用数 243人	23,064	24,272	就業支援課
	バリアフリー安全対策費	一般県道新座和光線外9路線のセミフラット化及び波打ち改善工事等を実施した。	226,000	204,700	道路環境課
	公園等建設費、公園等施設補修費	さきたま緑道他3公園において、園路改修工事を行った。	12,000	153,200	公園スタジアム課
	建築基準法等施行費	埼玉県福祉のまちづくり条例届出件数 1,006件	896	3	建築安全課
	公営住宅建設費	低額所得者などの住宅確保要配慮者に対し、低廉な家賃で住宅を供給した。子育て世帯から高齢者・障害者世帯などに配慮した住宅建設を推進した。	6,398,126	7,720,998	住宅課
	借上型県営住宅整備事業費	県南地域などの入居需要の多い地域において、民間事業者が建設する良質な住宅を公営住宅法に基づき、県が県営住宅として借上げ、所得が低く、かつ住宅に困窮している人に低廉な家賃で転貸した。 ・平成23年度事業 3団地 65戸	69,148	68,942	住宅課
	県営住宅へのDV被害者世帯の一時的な入居	県営住宅をDV被害者世帯の自立に向けた一時的な居住先(期限1年)として提供する。	-	-	住宅課
	特別支援教育体制整備事業	発達障害のある幼児児童生徒に対して、障害の状態に応じた十分な教育的支援を受けられるようにするため、支援体制の整備を図る。 1 特別支援教育推進委員会の設置(10回開催) 2 臨床心理士等による巡回相談の実施(180回実施) 3 特別支援教育コーディネーター専門性向上研修会の実施(323名参加) 4 特別支援教育指導者講習会の実施(50名) 5 広域特別支援連携協議会の設置(委員数20名、2回開催)	24,474	23,024	特別支援教育課
合計			55,970,097	63,333,535	
※再掲を除く			55,746,293	63,197,529	

基本目標V

男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

基本的な課題7 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①男女共同参画の視点に立った男女平等教育の推進	私立学校人権教育研修会	私立学校における人権教育の推進と教育内容・教育方法の改善のための教職員研修を推進した。(年間10回の研修会。参加者602名)	699	630	学事課
	県立高等学校の共学化の検討	平成15年3月25日付け「埼玉県男女共同参画苦情処理委員への報告書」を踏まえ、当面は現状を維持するとしながらも、各学校が、教育内容を大きく変更するなど、特色ある学校づくりに向けて主体的に取り組む中で、共学化を検討する可能性が出てきた場合は、積極的に支援していきたい。また、学校の再編整備計画による新校は、PTA等の学校関係者や地域の方々幅広い意見を踏まえた上で、共学化を検討していく考えである。 平成20年4月1日に開校した誠和福祉高校では、統合前の不動岡誠和高校において女子のみの募集をしていた普通科の募集を停止し、平成22年度には完全な共学校となった。	-	-	県立学校人事課
	進路指導推進事業(進路指導研究協議会の実施)	高等学校の進路指導を充実させることを目的に、各学校の進路指導主事を対象に研究協議会を開催(2回)	170	100	高校教育指導課
	県立高校教育活動総合支援事業(スペシャリストに学ぶ)	地域の民間人等のスペシャリストを講師として招き、専門教科・科目の実技等を中心に、先端的な事項や職業技術の勘所について授業を実施	2,875	2,300	高校教育指導課
	性教育の指導に関する実践推進事業	発達段階に応じた効果的な性に関する指導の推進を図る。 ・「性に関する指導」実践推進委員会の開催 大学教授(学識経験者)、小・中・高教諭・養護教諭等17名で構成 ・実践研修会の実施 授業研究会実施(県内4会場) 「性に関する指導」指導者研修会実施(H23.6 622名参加)	2,369	1,503	保健体育課
	指導主事の教委訪問指導事業	市町村教育委員会21市町教委、特別支援学校12校を訪問し、教育課程の実施状況、指導の実際について授業参観、研究協議を通して指導に当たった。	-	-	特別支援教育課
	特別支援教育研究推進事業	小学校2校、中学校3校、特別支援学校3校に特別支援教育の推進に係る研究を委嘱し、成果報告を行った。	-	-	特別支援教育課
	「指導の重点、努力点」の刊行	配布先：市町村教育委員会、公立幼稚園、公立小・中・高等学校等(2,700部)	108	108	義務教育指導課
	帰国児童生徒等への教育充実・サポート事業	・支援アドバイザー(1人)の配置 ・日本語コミュニケーションアドバイザー(7校)の配置	7,281	7,304	義務教育指導課 高校教育指導課
	出席簿における名簿の取扱いを始め、気づかないまま子供たちの価値観の形成に影響を与えていることからの点検や見直し	公立小学校、中学校、高等学校の75.4%が男女混合名簿を実施(平成16年度調査結果)	-	-	人権教育課
男女平等観に立った学校教育推進事業	男女平等教育推進委員会の開催。 ・男女平等教育の在り方の検討及び指導資料の作成(委員数13名) 男女平等教育研修会の開催。(幼稚園・小学校教職員及びPTA対象、参加者766名)	168	168	人権教育課	

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
②男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進	家庭教育支援推進事業 (再掲)	・家庭教育アドバイザーの養成 養成研修：1会場、8日間、64人(男性6人、女性58人)が家庭教育アドバイザーに登録 移行研修：5回実施、82人(男性6人、女性76人)が家庭教育アドバイザーに登録 ・家庭教育アドバイザー派遣 306回 ・「親の学習」リーフレットの作成・配布 保護者用73,000部	2,490	7,081	家庭地域連携課
③男女共同参画に向けた生涯学習の推進	社会教育指導者等研修支援事業(PTA役員等研修会)	PTA役員等研修会を実施 ・国公立幼稚園 1会場 104人 ・小中学校 9会場 2,381人 ・高等学校 4会場 1,045人 ・特別支援学校 1会場 342人	-	-	家庭地域連携課
	社会教育指導者等研修事業(青少年スキルアップ研修会)	青少年教育スキルアップセミナー(3日間) 受講者15人	86	-	生涯学習文化財課
	社会教育指導者等研修事業(社会教育関係委員・職員基礎研修)	・社会教育委員・社会教育指導員・社会教育施設職員・生涯学習審議会委員・社会教育担当職員・公民館運営審議会委員等の資質向上のため研修会を実施 5会場、515人	120	-	生涯学習文化財課
	社会教育指導者等研修事業(男女共同参画アドバイザー養成講座)	男女共同参画アドバイザー養成講座(4日間) 受講者54人、修了者45人	57	-	生涯学習文化財課
	生涯を通じた多様な学習活動協賛事業	・埼玉県生涯学習推進会議2回 ・生涯を通じた多様な学習活動協賛事業(埼玉まなびいプロジェクト協賛事業) 247事業	-	-	生涯学習文化財課
	生涯学習専門研修(公民館職員研修会)	公民館職員対象の資質向上のための研修会 1日間 32人(男 17人、女 15人)	31	31	総合教育センター
合計			16,454	19,225	
※再掲を除く			13,964	12,144	

基本目標Ⅵ 女性に対する暴力の根絶

基本的な課題8 女性に対する暴力の根絶

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり	県民相談費	・行政相談 1,212件 ・国、市町村、公社等相談 479件 ・民事・家庭相談 7,635件	18,362	15,582	広聴広報課
	防犯のまちづくり推進事業費	・街頭キャンペーンの実施(15カ所) ・わがまち防犯隊レベルアップセミナーの開催(3会場(各一日)、1,510団体対象) ・防犯のまちづくり推進会議の開催(H23.6.7、138団体) ・犯罪被害者相談のワンストップ化に向けた整備(H23.5.1運用開始)	7,596	10,292	防犯・交通安全課
	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業(再掲)	・DV対策関係機関連携会議の開催 2回 ・啓発用リーフレット 一般啓発用リーフレット(5,000部) 高校生向けパンフレット(26,100部) 中学生向けパンフレット(68,000部) ・被害者向けDV資料冊子(400部) ・被害者向けDV資料冊子<外国語版>(2,320部) ・DV防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 3回 ・DV防止出前講座 7回 ・デートDV防止啓発講座 9回 ・デートDV防止教育指導者研修会 1回 ・DV加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 5団体 ・DV被害者支援ボランティア育成講座開催委託 4団体	13,379	12,927	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,108	24,237	男女共同参画課
	高齢者虐待対策事業費	市町村が高齢者虐待に対応するための支援及び普及啓発を行う。 ・高齢者虐待対応専門の配置(非常勤1名) ・市町村、地域包括支援センター職員向け研修の修了者を高齢者虐待対応専門員として認証(103名) ・市町村高齢者虐待対応主管窓口の管理者向け研修の実施(24名) ・市町村職員研修「成年後見市町村長申立学習会」の実施(135名) ・養介護施設等の職員向け高齢者虐待防止セミナーの実施(1回) ・要援護高齢者等支援ネットワーク組織化の推進、県政出前講座の実施(32回、1,971名参加)による普及啓発の実施	3,788	3,709	高齢介護課
	子どもの権利擁護事業	委員会開催数：17回 相談件数：2,685件 調査専門員活動回数：101回	4,880	4,268	こども安全課
	単身者対応住宅への応募要件の追加	県営住宅のうち、単身者対応住宅の募集において、DV被害者に該当する者についても応募できるものとする。	-	-	住宅課
	県営住宅入居者公開抽選における当選率の優遇(再掲)	県営住宅の定期募集の抽選の際に母子世帯に加えてDV被害者世帯についても、一般の世帯に比べて当選率を高く設定する。	-	-	住宅課
	警察安全相談の強化	女性職員による対応や加害者と分離しての相談に対応するなど、事案の特性に配慮した相談しやすい環境の整備と関係職員の教養を実施した。 ・女性相談員の配置人員35名 ・警察安全相談員対象研修2回実施(統計値は平成23年中のもの)	-	-	生活安全企画課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	女性・子どもが被害者となる犯罪の未然防止対策の推進	<p>性犯罪等の前兆とみられる声かけ事案、つきまとい行為等の行為者に対する検挙、指導・警告措置を講じる先制・予防的活動を推進しているが、被害者は女性が多いことから、女性捜査員を多く配置している。</p> <p>関係機関団体と連携した犯罪の未然防止対策を推進するため、各種情報発信をするとともに、本部防犯指導班「ひまわり」等による防犯指導により自主防犯意識の醸成を図った。</p> <p>【各種情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジン 3,140件 ・防犯速報 53件 ・SDN速報 25件 ・防犯指導班「ひまわり」実施数 1,683回 112,492人(統計値は平成23年中のもの) 	-	-	子ども女性安全対策課 生活安全企画課
②配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援の推進	県民相談費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政相談 1,212件 ・国、市町村、公社等相談 479件 ・民事・家庭相談 7,635件 	18,362	15,582	広聴広報課
	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・DV対策関係機関連携会議の開催 2回 ・啓発用リーフレット <ul style="list-style-type: none"> 一般啓発用リーフレット(5,000部) 高校生向けパンフレット(26,100部) 中学生向けパンフレット(68,000部) ・被害者向けDV資料冊子(400部) ・被害者向けDV資料冊子<外国語版>(2,320部) ・DV防止フォーラム 1回 ・相談担当者研修 3回 ・DV防止出前講座 7回 ・デートDV防止啓発講座 9回 ・デートDV防止教育指導者研修会 1回 ・DV加害者対策研究会の開催 1回 ・民間団体育成事業費補助 5団体 ・DV被害者支援ボランティア育成講座開催委託4団体 	13,379	12,927	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,108	24,237	男女共同参画課
	警察安全相談の強化(再掲)	<p>女性に対する暴力事案の特性に鑑み、相談者の負担を軽減し、かつ、二次的被害を防止するため、女性職員による対応や加害者と分離しての相談に対応するなど、事案の特性に配慮した相談しやすい環境の整備と関係職員の教養を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性相談員の配置人員35名 ・警察安全相談員対象研修2回実施 <p>(統計値は平成23年中のもの)</p>	-	-	生活安全企画課
③セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	県庁内におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・セクシュアル・ハラスメント防止推進員研修会 平成23年5月16日(計372名参加) ・職員ポータル上の「セクシュアル・ハラスメントの防止について」のページを活用し、職場研修に使用できる教材や研修資料等を掲載している。 	205	205	人事課
	男女共同参画苦情処理機関の運営(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・処理件数計 4件(県施策 2件 人権侵害事案等 2件) ・苦情処理PRカードの作成(15,000部) 	1,771	2,216	男女共同参画課
	勤労者の心と身体の健康づくり推進事業費(再掲)	働く人のメンタルヘルス相談 45件	928	600	勤労者福祉課
	労働相談推進事業費(再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・労働相談 4,135件 ・労使調整 26件 ・インターネット労働相談 77件 	3,281	2,872	勤労者福祉課
	働くひとの人材育成教育事業(再掲)	働く人のためのワイド講座 59回	1,026	948	勤労者福祉課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	働きやすい職場環境づくり事業（再掲）	・労働者向け啓発冊子「いきいきライフ」の作成・配付、ホームページへの掲載 ・事業主向け啓発冊子「ワークライフバランスに取り組んでみませんか」の作成・配付、ホームページへの掲載	6,067	-	ウーマノミクス課
	学校内におけるセクシュアルハラスメント防止対策の推進	・各県立学校に、セクシュアル・ハラスメント防止（相談）委員会を設置し、苦情相談や研修会を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談件数等の調査を平成23年10月に実施した。	-	-	県立学校人事課
	職場におけるセクシュアルハラスメント防止対策の推進	・採用時教養等において、セクシュアル・ハラスメント防止に関する教養を実施した。 ・新任女性職員に対するパワーポイントを利用したセクハラ防止教養を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメント防止推進員研修（平成23年11月25日）を実施し、所属の取組み内容について説明した。 ・各所属において、職員に対するアンケートや検討会を実施し、セクハラ防止教養を実施した。 ・セクシュアル・ハラスメント防止対策要綱を全部改正（平成24年1月1日施行）し、防止対策体制を強化した。 ・教養資料「セクハラ防止だより」及び「セクシュアル・ハラスメント相談員の手引き」を職員用電子掲示板に掲示するとともに、各所属宛てに発出し、職員に対するセクハラ防止の意識向上を図った。	-	-	警務課
④性犯罪への対策の推進	犯罪被害者支援の推進	犯罪被害者の視点、ニーズに対応した各施策を推進し、精神的被害・経済的負担の軽減及び事件の再発防止を図った。また、リーフレット等を作成し、犯罪被害者相談センターの利用促進を図った。（平成23年度中の相談受理件数1,291件）	13,480	12,048	警務課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進（再掲）	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り65件、39人を検挙、被害児童36人を保護（統計値は平成23年中のもの）	-	-	少年捜査課
	悪質な風俗関係事犯の取締りの推進	女性の性を売り物とする風俗店の取締りを実施、売春防止法違反38件、風適法違反127件を検挙するとともに、女性が被害者となる痴漢・盗撮事案に対する埼玉県迷惑行為防止条例を適用し328件を検挙した。（統計値は平成23年中のもの）	-	-	生活環境第一課
	一人暮らし女性等に対する安全対策	痴漢、ストーカー等に関する事件情報や地域安全情報の提供などを通じて防犯意識の醸成を図ったほか、女性からの各種相談は、可能な限り女性の警察官や交番相談員が対応した。	-	-	地域課
	「痴漢被害相談所」活動の充実	・痴漢被害相談受理件数 169件 うち痴漢被害相談所における受理 146件 ・痴漢被害相談に基づく同行警乗 42件82回実施 ・痴漢被害防止講話 10回 6,628名 ・痴漢犯罪防止キャンペーン （春）5/16～5/20 延べ356人の隊員と関係協力者で広報活動を実施 （秋）10/24～10/28 延べ268人の隊員と関係協力者で広報活動を実施 両キャンペーンそれぞれの初日には、大宮駅において、高校生（男子高校生含む）、鉄道関係事業者及び警察官等（春180名、秋119名）による痴漢犯罪撲滅キャンペーン出発式を実施	-	-	鉄道警察隊
⑤売買春への対策の推進	婦人相談センター費	・一時保護人員 163人 ・女性の抱える様々な問題についての相談	92,334	100,420	男女共同参画課
	女性（婦人）相談員設置費（再掲）	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,108	24,237	男女共同参画課
	子どもの権利擁護事業（再掲）	委員会開催数：17回 相談件数：2,685件 調査専門員活動回数：117回	4,880	4,268	こども安全課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進(再掲)	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り65件、39人を検挙、被害児童36人を保護 (統計値は平成23年中のもの)	-	-	少年捜査課
	悪質な風俗関係事犯の取締の推進(再掲)	女性の性を売り物とする風俗店の取締りを実施、売春防止法違反38件、風適法違反127件を検挙するとともに、女性が被害者となる痴漢・盗撮事案に対する埼玉県迷惑行為防止条例を適用し328件を検挙した。(統計値は平成23年中のもの)	-	-	生活環境第一課
⑥人身取引対策の推進	婦人相談センター費(再掲)	・一時保護人員 163人 ・女性の抱える様々な問題についての相談	92,334	100,420	男女共同参画課
	女性(婦人)相談員設置費(再掲)	福祉事務所等に配置した女性相談員により、要保護女子の発見・相談・指導を行った。	24,108	24,237	男女共同参画課
	一人暮らし女性等に対する安全対策(再掲)	痴漢、ストーカー等に関する事件情報や地域安全情報の提供などを通じて防犯意識の醸成を図ったほか、女性からの各種相談は、可能な限り女性の警察官や交番相談員が対応した。	-	-	地域課
⑦ストーカー行為等への対策の推進	子どもの権利擁護事業(再掲)	委員会開催数：17回 相談件数：2,685件 調査専門員活動回数：117回	4,880	4,268	こども安全課
	ストーカー対策の推進	女性に対する暴力を根絶するため「ストーカー行為等の規制等に関する法律」を適用し、法に基づく警告(92件)等の行政措置を実施したほか、ストーカー規制法及び他の法令を積極的に適用し、33件を検挙した。 (統計値は平成23年中のもの)	-	-	生活安全企画課
⑧児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進	「児童買春・児童ポルノ禁止法」に基づく児童買春対策の推進(再掲)	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく取締り65件、39人を検挙、被害児童36人を保護 (統計値は平成23年中のもの)	-	-	少年捜査課
合計			397,364	400,500	
※再掲を除く			142,416	148,740	

基本目標Ⅶ

生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

基本的な課題9 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利の尊重

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利についての考え方の定着	母子福祉団体補助	母子家庭及び寡婦の福祉の増進に向けた各種事業を実施している母子福祉団体の活動を支援するための補助を行った。 相談件数 233件（男性100、女性133）	250	250	少子政策課
	母子保健研修事業	・母子保健専門研修 3回実施 ・母子保健関係職員研修 2回実施	512	712	健康長寿課
	性教育の指導に関する実践推進事業（再掲）	発達段階に応じた効果的な性に関する指導の推進を図る。 ・「性に関する指導」実践推進委員会の開催 大学教授（学識経験者）、小・中・高教諭・養護教諭等17名で構成 ・実践研修会の実施 授業研究会実施（県内4会場） 「性に関する指導」指導者研修会実施（H23.6 622名参加）	2,369	1,503	保健体育課
②生涯を通じた女性の健康保持対策の推進	精神保健福祉センター運営費（再掲）	県内の精神保健福祉の中核施設である精神保健福祉センターを運営し、精神保健福祉の向上を図った。	100,525	99,599	障害者福祉推進課
	地域保健福祉関係職員研修事業	・保健師研修（新任・57名、中堅・2日間延べ70名、管理者・38名、人材育成・2日間延べ76名） ・健康福祉セミナー 計4回 延べ181名 ・健康福祉研究発表会 208名 ・保健所別研修 1,235名	4,211	3,784	保健医療政策課
	周産期医療体制整備費	周産期にある妊婦のうち、特に危険度の高いものを対象として、出産前後の母体及び胎児・新生児の一貫した管理を行い、周産期死亡者の抑制を図った。	438,511	496,427	医療整備課
	看護師等養力強化充実事業費	1 現任の看護教員に対する研修の実施 2 看護学生実習指導者講習会の実施	7,126	28,079	医療整備課
	埼玉県看護協会等補助	看護協会等補助金の交付 (社)埼玉県看護協会、(社)埼玉県助産師会	550	550	医療整備課
	安心できるお産環境支援事業費	産科医師の不足や分娩を取り扱う医療機関の減少に対応するため、産科医療に携わる病院、医師への支援により産科医療体制の維持、充実を図り、安心して子供を産み、健やかに育てるための環境整備を行う。 1 母体救命コントロールセンター運営事業(42,560千円) 重篤な合併症など救命処置を必要とする妊産婦の受入れ又は受入先を手配するコントロールセンターを運営した。 2 母体搬送コーディネーター設置事業(25,625千円) リスクの高い妊産婦や重症な新生児の搬送が生じた際に、搬送可能な病院を調整する母体・新生児搬送コーディネーターを設置、運営した。	83,282	72,185	医療整備課
	救命救急・周産期センター医療従事者処遇改善事業費	救命救急センター、周産期母子医療センターでは、医師及び看護師の不足により診療体制を維持することが困難な状況にある。 そこで、救命救急センター、周産期母子医療センターに勤務する医師・看護師の処遇を改善するため、学会参加費等の研究活動費を補助する。	33,000	33,000	医療整備課
	医療安全相談（医師相談含む）	県民の医療に対する信頼を確保するため、患者・住民の医療に関する苦情・心配や相談に対応する。 医療安全相談受付件数（医師相談を除く。） 6,241件（内訳：県庁3,657件、保健所2,865件） 医師相談件数16件	449	449	医療整備課
	母子愛育会埼玉県支部補助	母子愛育会埼玉県支部の事業及び運営に関する補助	810	810	健康長寿課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	生涯を通じた女性の健康支援事業	・女性健康支援センター事業 3,037人 ・不妊専門相談センター事業 122人	6,626	4,570	健康長寿課
	エイズ母子感染防止事業費補助	・妊娠届出数 45,964件 ・受診者数 44,187人 ・受診率 96% (さいたま市、川越市を除く)	4,274	3,761	健康長寿課
	母子保健総合推進事業費等	母子保健サービス充実のための連絡調整事業や保健所等での専門的相談事業を実施(障害児や長期療養の必要な児童及び女性の心身の相談に対応)	14,732	13,226	健康長寿課
	埼玉県不妊治療費助成事業費	不妊治療費助成件数 4,887件	1,145,322	1,069,727	健康長寿課
	歯と口の健康づくり推進支援事業	生涯を通じた歯と口の健康づくりを推進し、80歳で20本以上の歯を保つ人を増やすことにより、長寿社会を豊かに過ごすことができる地域づくりを進める。	16,664	13,963	健康長寿課
	生活習慣病予防のための食生活改善支援事業	食生活改善推進員のスキルアップ研修会を実施 47市町60回	620	620	健康長寿課
	健康増進事業費	健康増進法に基づき市町村が実施する保健事業に対する補助を行い、県民の生活習慣病対策を推進する。	134,216	117,764	健康長寿課
	健康長寿推進事業	小鹿野町の取組をもとに鳩山町、ときがわ町においてモデル事業を実施し、健康長寿推進要因を確認した。 ・健康長寿要因の実証及び検討委員会開催 2回	2,814	-	健康長寿課
	「健康長寿プロジェクト」強化事業	都市部への健康長寿の展開の可能性を検討するため、住民と協働し、健康長寿に取り組んでいる都市部の例を調査した。 ・健康長寿シンポジウム実施 1回 417人	8,220	-	健康長寿課
	埼玉県健診データ等解析事業	県民の健康水準、健康課題を把握することを目的に、本県に特定健診・特定保健指導結果を統計的に処理し、分析し、評価を行う。	13,292	17,511	健康長寿課
③健康をおびやかす問題についての対策の推進	エイズ対策総合推進事業費	・検査件数：2,515件 ・相談件数：7,515件 ・カウンセリング実施回数：119回	24,317	65,378	疾病対策課
	薬物乱用防止対策推進費	・街頭キャンペーン等の実施(83回) ・薬物乱用防止教室等への講師派遣(179件) ・違法ドラッグのインターネット広告監視及び買上検査(300件、53検体) ・薬物乱用に関する相談指導(789件)	12,748	12,770	薬務課
	薬物乱用防止教育の推進	小・中・高校等における薬物乱用防止教室の開催延べ898回211,759人を対象に実施 (統計値は平成23年中のもの)	-	-	少年課
	薬物乱用防止対策の推進	薬物事犯の検挙人員に占める初犯者の割合は半数近くを占めており、一般市民層への拡散がうかがわれることから、平成23年中、末端乱用者の徹底検挙を強力に推進し、薬物事犯で550人(うち女性121人)を検挙。	-	-	薬物銃器対策課
合 計			2,055,440	2,052,854	
※再掲を除く			1,952,546	1,951,752	

基本目標Ⅷ

国際的協力

基本的な課題10 男女共同参画の視点に立った国際協力・国際交流の推進

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①国際社会における取組の成果の取入れ・浸透	平和資料館調査・普及・展示開催費	<ul style="list-style-type: none"> 資料調査収集保存事業 収集資料展の開催、戦争体験者証言ビデオ収録5人、編集5人 視聴覚資料の充実 普及事業の実施 戦時中の体験を聞く会（1回169人）、映画会（13回743人）、こどもの日クイズラリー（624人）、広報誌発行（1回） テーマ展Ⅰ「戦争と動物たち」 6,676人 テーマ展Ⅱ「寄贈資料が語る戦時の記憶～平成22年度新収集資料を中心に～」 3,468人 テーマ展Ⅲ「世界の平和と人々の幸せのために～ユネスコとその活動～」 6,157人 テーマ展Ⅳ「収蔵品展～絵双六に見る近代～」 5,516人 	3,077	2,797	広聴広報課
	平和資料館管理運営費	資料館施設設備及び展示施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> 運営業務 非常勤職員4名の配置 運営協議会の開催 年2回 利用案内等の印刷 	22,649	28,532	広聴広報課
	人権施策推進費（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒューマンフェスタ2011さいたま」の開催 「人権啓発指導者養成講座」、「企業人権担当者研修会」の開催 	51,887	50,309	人権推進課
	男女共同参画推進条例の普及促進（再掲）	県政出前講座など様々な機会を捉えて普及促進を行うとともに、「統計でみる埼玉の男女共同参画」を作成し、研修会や説明会などで配付した。	316	308	男女共同参画課
②男女共同参画に関する国際理解の促進	語学指導助手等招致事業費	外国青年の招致 <ul style="list-style-type: none"> 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）85人（県・7市町村他） 	7,109	13,407	国際課
	国際交流事業	姉妹友好提携を結ぶ5つの州省との交流事業の実施及び総合的な調整等を行った。	1,987	11,950	国際課
	「埼玉発世界行き」奨学金支給事業	海外留学を志す県内の大学生・高校生などに対し、奨学金を支給。 平成23年度は、学位取得コース11名、協定留学コース211名、高校生留学コース31名の計253名に対し、奨学金を支給した。 また、奨学生の「壮行会」、海外留学を考えている若者に対し「海外留学フェア」を開催した。	79,165	89,690	国際課
	高校生体験活動推進事業（海外授業体験）	海外の高校と連携し、相手校生徒の家にホームステイしながら、授業、行事、奉仕活動等を体験することにより、多様な文化や価値観に気付き、豊かな人間性を備えた国際人の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 派遣・受入学校数（派遣：8校、受入：2校） 主な派遣国と派遣校数（オーストラリア：7校、ドイツ：1校） 主な受入国と受入校数（オーストラリア：2校） 	3,000	2,400	高校教育指導課
③「途上国の女性支援（GADイニシアティブ）に配慮した国際協力の推進	海外人材育成協力事業	姉妹友好州省から1名の研修員を招き、専門研修を行い、相手国の経済社会の開発に貢献する人材を養成。事業の実施にあたっては、ホームステイを実施し、県民の協力を得た。また、県立高校での授業に参加し高校生と交流を行ったり、国際フェアに参加し県民と交流するなど、研修員受入のメリットを県民に感じられるようにした。 <ul style="list-style-type: none"> 研修員1名（男性） メキシコ州（生産工学） 研修期間 1か月 	2,046	1,866	国際課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
	環境科学国際センター事業費	1 入館者数 42,608人 2 彩の国環境大学の入学者 男子80人 女子19人 3 海外環境保全技術研修員関係事業 ・海外研修員及び訪問者等の受入 男子34人 女子7人	230,225	252,612	環境政策課
	公衆衛生国際交流・国際協力推進事業	・中国山西省医療衛生技術研修員受入1名	2,110	1,939	保健医療政策課
④国際交流団体・国際協力団体等による取組の促進	国際協力県民プラザ管理運営事業	「国際協力県民プラザ」の運営に要する経費を(財)埼玉県国際交流協会に対して補助した。 ・利用者合計7,356人	4,051	2,000	国際課
⑤県内在住の外国人への支援	多文化共生総合推進事業	1 コミュニケーション支援 1 多言語による行政・生活情報の提供 2 「埼玉県暮らしのガイド」情報提供事業 2 多文化共生の地域づくり事業 1 多文化共生キーパーソン活用事業(178人、研修会1回実施) 2 外国籍県民県政モニターの設置 109人委嘱、アンケート2回、提言随時 3 生活支援事業 1 外国人住まいサポート事業 登録店舗数157店舗 相談件数2,812件 2 高校進学ガイダンス事業(1回開催、183人参加) 4 推進体制の整備 1 多文化共生推進会議の開催(会議を1回開催)	3,536	6,113	国際課
	外国人総合相談センター設置事業費	言葉や習慣の違い、情報不足などで、日常生活に様々な不便を感じたり、支障を来している外国人を支援するために、「外国人総合相談センター埼玉」において、多言語による生活相談、情報提供、公共機関窓口等における電話通訳、入管・労働・法律の各分野における専門家による対面相談を行う。 また、埼玉県全体の外国人相談・情報提供の水準を向上させるため、県・市町村・NGOの外国人相談員等を対象に研修を行う。 相談件数：4,509件	25,502	15,938	国際課
合 計			436,660	479,861	
※再掲を除く			384,457	429,244	

基本目標Ⅹ

計画の推進

基本的な課題11 計画の推進

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
①総合的な推進体制の整備	男女共同参画基本計画の普及促進	・埼玉県男女共同参画推進プランの進捗状況を把握し、年次報告書として発行し、HPに登載した。 ・埼玉県男女共同参画基本計画策定のため、県民コメント及び広聴会を実施した。	2,550	2,494	男女共同参画課
	埼玉県男女共同参画審議会	4回開催	2,442	1,478	男女共同参画課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施(再掲)	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	6	6	男女共同参画課
	男女共同参画推進センター運営費	県民、市町村の男女共同参画に関する取組を支援するための事業を実施した。 ・平成23年度利用者数 216,839人	137,750	136,450	男女共同参画課
	男女共同参画に関する男性の意識・実態調査	男女共同参画について男性がどのような意識を持ち、家庭、職場や地域においてどのような役割分担を行っているのか、業務委託により意識・実態調査を実施した。 ・調査対象 県内在住の満20歳以上の男性 ・標本数 3,000人(有効回収率 33.7%)	5,250	-	男女共同参画課
②市町村の推進体制の整備への支援と市町村との連携	市町村連絡会議の開催(再掲)	市町村男女共同参画行政担当へ男女共同参画関連事業の説明会を実施した。(参加者のうち、市町村職員数8名)	15	15	男女共同参画課
	DV対策に関する会議の開催	市町村説明会を1回、市町村情報交換会を1回開催した。	-	-	男女共同参画課
	市町村の体制整備と一層の取組の促進(再掲)	男女共同参画に関する条例を制定している市町村 ・平成24年4月1日現在 31市町 男女共同参画に関する計画を策定した市町村数(累計) ・平成24年4月1日現在 63市町村	-	-	男女共同参画課
③国・県民・事業所・民間団体との連携	民間団体の自主研修事業等への協力	「男女共同参画」をテーマとした民間団体の自主的な研修事業を男女共同参画推進センター(With You さいたま)で共催で実施した。	-	-	男女共同参画課
	各団体との連絡調整	男女共同参画を推進する民間団体との連携を図った。	-	-	男女共同参画課
	女性チャレンジ総合支援事業費(再掲)	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	さらなるステップアップのための女性チャレンジ支援事業(再掲)	・働く女性のチャレンジ相談 235件 ・働く女性のステップアップ講座の開催 講座14回 240人、講演会&交流会2回 57人、 グループ相談会3回 9人 ・働く女性のネットワークの創設 200人登録 ・女性からの政策提言講座 3回 65人	10,655	-	男女共同参画課
④計画の進行の管理	男女共同参画基本計画の普及促進(再掲)	・埼玉県男女共同参画推進プランの進捗状況を把握し、年次報告書として発行し、HPに登載した。 ・埼玉県男女共同参画基本計画策定のため、県民コメント及び広聴会を実施した。	2,550	2,494	男女共同参画課
	男女共同参画配慮度評価の導入・実施(再掲)	行政刊行物等及び事業のチェックを実施した。	6	6	男女共同参画課

施策の基本的な方向	事業名	H23年度事業実績	H23予算 (千円)	H24予算 (千円)	担当課
⑤女性のチャレンジ支援体制の整備	女性チャレンジ総合支援事業費（再掲）	チャレンジしたい女性への相談や情報提供 ・チャレンジ&お仕事相談件数 2,159件 チャレンジ支援セミナー等の開催 女性チャレンジ推進団体育成 ・委託団体数 2団体 支援ネットワークの構築 ・ネットワーク加入数 105機関・団体	14,958	17,950	男女共同参画課
	さらなるステップアップのための女性チャレンジ支援事業（再掲）	・働く女性のチャレンジ相談 235件 ・働く女性のステップアップ講座の開催 講座14回 240人、講演会&交流会2回 57人、 グループ相談会3回 9人 ・働く女性のネットワークの創設 200人登録 ・女性からの政策提言講座 3回 65人	10,655	-	男女共同参画課
合 計			201,795	178,843	
※再掲を除く			147,992	140,422	

3 「埼玉県男女共同参画推進プラン」における推進指標の達成状況

基本目標	基本的な課題	施策の基本的な方向	指標	目標		直近の実績		達成率 B/A×100	担当課
				年度等	値 (A)	年度等	値 (B)		
I	1	①	固定的性別役割分担に同感しない人の割合	平成21年度	50%以上	平成21年度	52.5%	105.0%	男女共同参画課
II	3	①	審議会等における女性委員の割合	平成23年度	40%	平成23年度	34.4%	86.0%	男女共同参画課
III	4	①	女性（15～64歳）の就業率	平成22年	58.4%	平成22年	58.6%	100.3%	ウーマノミクス課
III	4	②	高等技術専門校の女性修了者の就職率	平成23年度	100%	平成23年度	90.9%	90.9%	産業人材育成課
III	4	②	ヤングキャリアセンター埼玉を利用した女性就職者数	平成19年度～平成23年度	4,000人	平成19年度～平成23年度	6,666人	166.7%	就業支援課
III	4	⑤	農家における家族経営協定締結戸数	平成22年度末	2,100戸	平成23年度末	1,869戸	89.0%	農業支援課
III	4	⑤	さいたま農村女性アドバイザー数	平成22年度末	450人	平成23年度末	431人	95.8%	農業支援課
IV	5	①	保育サービスの利用児童数	平成23年度末	94,000人	平成23年度末	101,853人	108.4%	子育て支援課
IV	5	①	放課後児童クラブの設置数	平成21年度末	840か所	平成23年度	1,052か所	125.2%	少子政策課
IV	5	①	「地域子育て応援タウン」認定市町村の数	平成19年度～平成23年度	全市町村	平成19年度～平成23年度	全市町村	100.0%	少子政策課
IV	5	①	地域包括支援センターの設置数	平成23年度末	240か所	平成23年度末	236か所	98.3%	高齢介護課
IV	5	③	男性県職員の育児休業取得率	平成21年度	10%	平成23年度(暫定値)	8.4%	84.0%	人事課
IV	5	③	中小企業において、仕事と育児の両立支援制度を整備している事業所の割合	平成23年度	80%	平成23年7月	69.8%	87.3%	ウーマノミクス課
IV	5	④	子育てアドバイザーの登録数	平成21年度末	800人	平成23年度末	1,132人	141.5%	家庭地域連携課
IV	5	⑤	避難所における女性への配慮を定めている市町村数	平成23年度末	全市町村	平成23年度末	56市町村	88.9%	消防防災課
VII	9	②	周産期母子医療センターの整備数	平成23年度末	8か所	平成23年度末	10か所	125.0%	医療整備課
IX	11	②	男女共同参画推進に関する計画を策定した市町村の割合	平成23年度末	100%	平成23年度末	100.0%	100.0%	男女共同参画課
IX	11	⑤	男女共同参画推進センターを核とする女性のチャレンジ支援ネットワークの構成団体数	平成23年度末	105団体	平成23年度末	105団体	100.0%	男女共同参画課

IV 男女共同参画推進センターによる男女共同参画の推進

1 平成23年度事業実績

ア 研修・講演事業

(ア) 県民対象講座

No.1	こころとからだの健康講座 「腰痛の自己管理と予防～腰痛すっきりトレーニング～」
実施日	平成23年9月17日（土）
内 容	日本人の国民病とも言われる「腰痛」を防ぐための自己管理の方法を学び、柔軟性と筋力を高める簡単なトレーニングを体験した。 講師 伊藤俊一（埼玉県立大学教授）
参加者数	36人
No.2	こころとからだの健康講座 「心の病気は治るのか？～統合失調症におけるリハビリと周囲の見守り～」
実施日	平成23年10月2日（日）
内 容	代表的な心の病気の一つである「統合失調症」の症状が起こるしくみについて学び、リハビリという考え方、本人や周囲の人ができることについて確認した。 講師 藤井千代（埼玉県立大学准教授）
参加者数	59人
No.3	こころとからだの健康講座 「発達障害とコミュニケーション～ふれあい、察し、なっとく」
実施日	平成23年12月11日（日）
内 容	発達障害を持つ方とのコミュニケーションのコツを学び、ロールプレイやゲームから、相手の気持ちを察する「想像力」や、分かりやすく伝える「思いやり」が大切であることを体験した。 講師 川俣 実（埼玉県立大学准教授）
参加者数	30人
No.4	こころとからだの健康講座 「生活習慣と健康～生き生きライフのための健康生活のススメ～」
実施日	平成24年1月21日（土）
内 容	「ブレスローの7つの健康習慣」「一無二少三多」「5S 追放運動」など、生活習慣の改善策を学び、健康への取り組みを考えた。 講師 會田みゆき（埼玉県立大学講師）
参加者数	26人
No.5	東京家政大学共催公開講座 「男女共同参画基礎講座～仕事と家庭と市民生活の調和～」
実施日	平成23年10月15日（土）、12月3日（土）、17日（土）、平成24年1月14日（土）、21日（土）、30日（月）
内 容	1日目 「人生百年 すべての男女に居場所と出番」 講師 樋口恵子（東京家政大学名誉教授） 2日目 「性別分業から共同参画へ」 講師 金城清子（元龍谷大学法科大学院教授） 3日目 「埼玉で考える『男女共同参画社会』のこれから」 講師 瀬山紀子（埼玉県男女共同参画推進センター 事業コーディネータ） 4日目 「カルタで学ぶ男女共同参画ーカルタにトライ＆トライ！ー」 講師 青木幸子（東京家政大学教員養成教育推進室長） 5日目 「ともに働き、ともに生きるー迷惑をかけあいながら働ける社会の構築」 講師 杉浦浩美（東京家政大学人間文化研究所非常勤講師） 6日目 「一市民としての女性の力」 講師 落合恵子（作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授）
参加者数	延べ371人

No.6	男女共同参画基礎講座「アカデミズムの扉を開く」-2012-
実施日	平成24年3月11日(日)
内容	<p>《論文・研究発表》 ジェンダーにまつわる疑問・驚き・発見を、学生が卒業論文や研究成果として発表。 コメンテーター：新田啓子(立教大学ジェンダーフォーラム所長・教授) 有馬明恵(東京女子大学現代教養学部人間科学科准教授)</p> <p>《交流会》 発表者やコメンテーターを囲んで交流会を行った。</p>
参加者数	39人

(イ) 市町村職員研修

No.1	市町村男女共同参画担当職員研修会(第1回)
実施日	平成23年5月17日(火)、18日(水)
内容	<p>男女共同参画についての様々な課題について、市町村男女共同参画担当職員に必要な知識及び情報を提供するとともに、担当者間のネットワーク形成に寄与するため研修を行った。</p> <p>講義 「地域で男女共同参画を進めるための基礎知識」 講師 瀬山紀子(With You さいたま事業コーディネータ)</p> <p>ワークショップ①「男女共同参画推進計画の活かし方」 ワークショップ②「災害時の対応における男女共同参画の視点」 事例報告：(1) With You さいたまの取組 (2) 県内被災者支援の取組 報告者：鈴木玲子(NPO 法人彩の子ネットワーク代表理事)</p>
参加者数	33人

No.2	市町村男女共同参画担当職員研修会(第2回)
実施日	平成23年6月7日(火)、8日(水)
内容	<p>「連携・協働で進める男女共同参画」をテーマとし、事例を交えたワークショップを通して検討した。また、各テーマごとの分科会形式のワークショップを行った。</p> <p>講義 「連携・協働で進める男女共同参画」 講師 瀬山紀子(With You さいたま事業コーディネータ)</p> <p>◆事例報告 (1) 埼玉中小企業家同友会 女性経営者クラブ・ファミ (2) 子育て・子育て応援団 ポラリス + 東松山市 グループワーク 「市民との連携・協働で進める男女共同参画」～こんなことをしたい!～</p> <p>◆分科会 ①模擬策定委員会「こんな計画をつくりたい!」 ②模擬編集会議「こんな広報紙をつくりたい!」 ③模擬企画会議「こんな講座を開催したい!」</p>
参加者数	22人

No. 3	市町村男女共同参画担当職員研修会 (第3回) (地域研修・戸田市、深谷市)
実施日	戸田市：平成23年10月3日(月) 深谷市：平成23年10月4日(火)
内容	<p>「連携・協働で進める男女共同参画」をテーマに開催し、戸田市と深谷市の協力により地域で活動する市町村民の参加による研修を実施した。</p> <p>10月3日(月) 講義 「第3次男女共同参画基本計画を地域で実現するための事業のあり方」 講師：佐國 勝(国立女性教育会館) ワークショップ 「前半期の事業を振り返り、今後の課題を探る」 講師：佐國 勝(国立女性教育会館)</p> <p>10月4日(火) 講義 「ここまで見えてきた『災害・防災と男女共同参画』」 講師 大山研次(内閣府男女共同参画局) 講義 「被災者支援活動を通して考えた男女共同参画の課題」 講師 薄井篤子(With You さいたまサポートスタッフ) ◆事例報告 「深谷市における女性消防団活動の取組みから」 報告者：岩田豊子(深谷市男女共同参画推進センター) ワークショップ 「地域の防災活動に女性の参画を促すためにできること」 ファシリテータ：瀬山紀子(With You さいたま事業コーディネータ)</p>
参加者数	延べ38人

No. 4	相談事業に関する研修・情報交換会
実施日	平成23年11月18日(金)、12月9日(金)、平成24年1月18日(水)、1月20日(金)、1月27日(金)
内容	市町村における相談の質の向上と相談支援体制の強化のため、県内5か所において研修・情報交換会を実施した。近隣市町含む19市町の相談担当者の参加により、男女共同参画行政における相談対応の基本と、相談員のメンタルヘルスなどを学ぶとともに、今後の相談支援体制を強化するため、情報や意見の交換を行った。
参加者数	57人

(ウ) 教職員研修

タイトル	DV防止学校関係者研修会 (男女共同参画課共催)
実施日	平成23年7月27日(水)
内容	デートDVの実態を知り、いくつかの事例検討を通して、被害者・加害者に対し学校ができることを考えた。 講師 阿部真紀・池畑博美・大家弘美(NPO法人エンパワメントかながわ)
参加者数	54人

(エ) 講演会

タイトル	男女共同参画週間講演会 「災害でみえてきたこと ～阪神淡路大震災から東日本大震災の中で～」
実施日	平成23年7月3日(日)
内容	講演 「災害でみえてきたこと ～阪神淡路大震災から東日本大震災の中で～」 講師：辛 淑玉(人材育成コンサルタント)
参加者数	143人

(オ) 共催講座

No. 1	埼玉大学共催公開講座「ポスト3.11を生きる—何ができるか、何をすべきか」
実施日	平成23年10月8日、22日、11月5日、12日（土曜4回）
内容	1日目 「人類の現在と将来」 講師 大西純一（理工学研究科生命科学部門教授、生物学） 2日目 「災害のリスクを評価する—情報の海の中から」 講師 山本 充（教養学部教授、人文地理学） 3日目 「災害による心の傷つきと回復」 講師 堀田香織（教育学部教授、臨床心理学） 4日目 「『土』の権利—土壌環境の研究から考えること」 講師 小松登志子（理工学研究科・環境科学研究センター教授、土壌環境科学）
参加者数	延べ206人
No. 2	埼玉学園大学・川口短期大学共催公開講座「災害と女性」
実施日	平成23年10月22日、29日、11月12日、19日（土曜4回）
内容	1日目 「東日本大震災と女性～仙台で震災に遭遇して～」 講師 奥山忠信（埼玉学園大学経営学部教授） 2日目 「東日本大震災とケア～小さな子どもたちを守るために～」 講師 井上清美（川口短期大学こども学科専任講師） 3日目 「生きる力と音楽～産声に始まる人間と音楽の不思議な関係より～」 講師 牧野利子（川口短期大学こども学科准教授） 4日目 「平清盛と女院たち～大火・飢饉・戦乱等の災害に直面して～」 講師 服藤早苗（埼玉学園大学人間学部教授）
参加者数	延べ78人
No. 3	男女共同参画アドバイザー養成講座
実施日	平成23年7月25日（月）、8月3日（水）、9日（火）、16日（火）（4回）
内容	1日目 「防災分野における男女共同参画の推進 ～男女共同参画の視点を踏まえた被災者支援等について～」 講師 村田亜希子（内閣府男女共同参画局総務課 専門職） 2日目 「経済的自立につながる女性の課題解決型地域活動に関する調査研究報告とディスカッション」 講師 野依智子（国立女性教育会館研究国際室 研究員） 「グローバル化時代の男女共同参画とコミュニティの役割」 講師 渡辺美穂（国立女性教育会館研究国際室 研究員） 3日目 実践報告① 「地域における男女共同参画の取組」 実践報告② 「市町村における男女共同参画の取組」 実践報告③ 「避難生活を乗り越えるために男女共同参画の視点でなすべきこと ～大規模災害における被災者の困難と性差・年齢等による課題から考える～」 4日目 「再確認！男女共同参画の視点とは」 「課題解決型の実践的活動を進めよう」 講師 瀬山紀子（With You さいたま事業コーディネータ）
参加者数	56人
No. 4	男女共同参画アドバイザーフォローアップ研修会
実施日	平成24年1月30日（月）
内容	「男女共同参画アドバイザー」を対象に、活動後のフォローアップ研修会を実施し、その能力等の伸長を図った。 実践発表 「男女共同参画アドバイザーとしての自己研さんのあり方」 「男女共同参画アドバイザー連絡会の活動」
参加者数	34人

イ 人権啓発活動受託事業

タイトル	DV 防止フォーラム2011 in 埼玉 「DV と子どもたち～大切なあなたを守るために～」
実施日	平成23年11月13日（日）
内容	「DV が子どもに与える影響」をテーマとして取り上げ、子どもたちが受ける被害の実態を知り、子どもの心のケア、母親など養育者への支援を考えた。 <第1部> ・映画上映「パパ、ママをぶたないで」 ・講演「支援を通して見える現実」 講師：横田千代子（婦人保護施設「いずみ寮」施設長） ・講演「DV が子どもに与える影響」 講師：藤森和美（武蔵野大学教授） <第2部> ・ディスカッション「大切なあなたを守るために」 コーディネータ：中村敏子（ほっと越谷所長） ・メッセージ&アトラクション「DV のことみんなに」
参加者数	116人

ウ ワークショップ開催事業

No.1	第10回 With You さいたまフェスティバル
実施日	平成24年2月3日（金）～5日（日）
内容	県内で男女共同参画の視点で活動している団体・グループなどが日ごろの活動成果等を発表。 テーマ：つながる！ひろがる！未来をつくる！ ワークショップ参加団体：44団体
参加者数	延べ2,908人

No.2	With You さいたまフェスティバル講演会
実施日	平成24年2月5日（日）
内容	「中山千夏の“現代論” 女も男もオンナで行こう！」 講師：中山千夏（作家）
参加者数	208人

エ その他自主事業

タイトル	平成23年度男女共同参画週間 「シネマ&トーク」
実施日	平成23年7月1日（金）
内容	山川菊栄のドキュメンタリーを上映し、その後監督によるトークショーを行った。 上映会 山川菊栄の思想と活動 「姉妹よ、まずかく疑うことを習え」 トーク 山上千恵子監督
参加者数	延べ58人

オ 女性チャレンジ支援事業

(ア) 女性チャレンジ支援講座（共催事業）

No.1	ビジネスパソコン基礎講座シリーズ	共催) 有限会社 E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成23年4月26日（火）、27日（水）、6月8日（水）、15日（水）、21日（火）、22日（水）、 7月6日（水）、13日（水）、19日（火）、20日（水）、8月10日（水）、17日（水）、23日（火）、 24日（水）、9月7日（水）、14日（水）、20日（火）、26日（月）	
内容	14の項目に分けて、少しずつステップアップしながらパソコンの基本操作を習得する。 <input type="checkbox"/> Windows 基礎、Excel 活用、ビジネス文書作成、プレゼン資料作成 講師 下地直子氏 ほか（有限会社 E-スタジオ講師陣）	
参加者数	延べ93人	

No.2	女性創業セミナー①	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成23年5月14日(土)、21日(土)	
会場	新都心ビジネス交流プラザ	
内容	<p>創業の心構えと基本スキルのしっかりした習得に加え、「これだけは知っておきたい」経営のスキル、子育てとの両立など「女性に特有の課題」への対応法を学ぶ。</p> <p><input type="checkbox"/>1日目「起業イメージの具体化／起業のステップ理解／事業計画を理解する／埼玉県下の起業事例から成功ポイントを掴む」</p> <p><input type="checkbox"/>2日目「マーケティングの考え方／事業計画の立て方(終了後、希望者を対象とした交流会)」</p> <p>講師 油井文江氏 (株式会社ゆいアソシエイツ代表取締役・女性コンサルタントネットエルズ代表)</p>	
参加者数	延べ35人	

No.3	就業を目指す女性のための職業訓練コース説明会	共催) 埼玉県立職業能力開発センター
実施日	①平成23年6月7日(火)、②10月4日(火)	
内容	<p>求職者向け職業訓練の紹介等</p> <p><input type="checkbox"/>オリエンテーション</p> <p><input type="checkbox"/>求職者向け職業訓練の紹介・施設内訓練(高等技術専門校)、委託訓練、質疑応答</p> <p><input type="checkbox"/>個別相談会</p>	
参加者数	①10人 ②5人	

No.4	女性創業塾	共催) さいたま商工会議所、 財団法人さいたま市産業創造財団、 株式会社日本政策金融公庫さいたま支店、 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成23年7月9日(土)、16日(土)、23日(土)、30日(土) フォローアップ講座 7月31日(日)、8月6日(土)、7日(日)	
内容	<p>創業、経営に関するノウハウを身に付け、ビジネスプランの策定に重点を置いたコース。</p> <p><input type="checkbox"/>1日目「経営者感覚をつかむ」</p> <p><input type="checkbox"/>2日目「あなた」だから出来る事業の見つけ方」</p> <p><input type="checkbox"/>3日目「マーケティングとうれるしくみ作り」</p> <p><input type="checkbox"/>4日目「マネジメントの基本と創業に必要なこと」</p> <p>講師 折原浩氏ほか(株式会社ディセンター)</p>	
参加者数	延べ107人	

No.5	ひとり親家庭子育て支援セミナー	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
実施日	①平成23年7月10日(日) ②平成24年2月26日(日)	
内容	<p>講演: ①「わっはっは! 笑う体操ハッピーヨガ」 ②就活に役立つ面接術</p> <p>講師 ①堀芳子氏(一般社団法人ラフターヨガ・ネット常務理事) ②森山貴代氏(i&iコミュニケーション・ラボ 代表)</p>	
参加者数	①26人 ②19人	

No.6	ホームページ計画・作成セミナー	共催) 有限会社E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成23年6月4日(土)、11日(土)	
内容	<p>HPに必要な環境・契約・経費、HPの運営基礎知識とSEOに配慮した作り方、ブログと組み合わせた効果的な運営方法。</p> <p>講師 中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)</p>	
参加者数	延べ18人	

No. 7	ホームページ&ブログ作りを学ぼう	共催) 有限会社E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	①平成23年8月20日(土)、21日(日) ②10月22日(土)、23日(日) ③平成24年1月21日(土)、22日(日)	
内容	HP開設に必要な環境整備や契約方法、設計の考え方など。 <input type="checkbox"/> HP公開のための基礎知識 <input type="checkbox"/> HPを計画する <input type="checkbox"/> ブログの活用 <input type="checkbox"/> HTMLの基本 講師 中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)	
参加者数	①42人 ②36人 ③43人	
No. 8	ネットショップ店長養成講座	共催) 有限会社E-スタジオ 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	①平成23年6月3日(金)、10日(金)、17日(金)、25日(土)、7月1日(金) ②10月18日(火)、25日(火)、11月1日(火)、12日(土)、15日(火) ③平成24年1月19日(木)、26日(木)、2月2日(木)、11日(土)、16日(木)	
会場	新都心ビジネス交流プラザ、埼玉県男女共同参画推進センター(With Youさいたま)	
内容	ネットショップ開店準備や契約方法、作り方、売上につながる運営方法など。 <input type="checkbox"/> 1日目:「ネットショップ開店の計画~開店の方法、必要な環境、必要なスキル、費用など~」 <input type="checkbox"/> 2日目:「ネットショップの企画~販売品目の整理、ショップコンセプト、対象者の明確化など~」 <input type="checkbox"/> 3日目:「商品を「見せる」工夫~効果的な写真の撮り方、加工の仕方など~」 <input type="checkbox"/> 4日目:「サンプルショップを作る~テンプレートを使ったネットショップ開設体験~」 <input type="checkbox"/> 5日目:「売上につながる工夫~ブログやツイッターの活用、キャンペーン、メルマガなど」 講師 中邨登美枝氏(有限会社E-スタジオ取締役社長)	
参加者数	延べ①58人 ②70人 ③89人	
No. 9	“人生を変える”メイク術	共催) 有限会社E-スタジオ
実施日	①平成23年9月13日(火) ②10月25日(火) ③平成24年3月13日(火)	
内容	自分を輝かせるため「生き方」「働き方」と「メイク」「ファッション」両面から考える。 ①「らしさ発見」メイク 実技:眉 ②「思いを伝える」メイク 実技:アイメイク ③「オーラ開花」メイク 実技:チーク、リップ、トータルバランス 講師 星 泰衣氏(Slow Beauty Style 代表)	
参加者数	①7人 ②11人 ③11人	
No. 10	企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー① 成功企業に学ぶ働き方の見直し	共催) 埼玉県勤労者福祉課
実施日	平成23年9月5日(月)	
会場	埼玉会館	
内容	ワークライフバランスで効果を上げている先進企業の事例紹介、パネルディスカッション。 <input type="checkbox"/> [事例紹介] 株式会社資生堂:高野幸洋氏(株式会社資生堂人事部長) 三州製菓株式会社:齊之平伸一氏(三州製菓株式会社代表取締役社長) <input type="checkbox"/> [パネルディスカッション] パネリスト:高野幸洋氏(株式会社資生堂人事部長) 齊之平伸一氏(三州製菓株式会社代表取締役社長) コーディネーター:数本雅子氏(元日本テレビアナウンサー)	
参加者数	67人	
No. 11	ひとり親家庭の母等のパソコン教室	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
実施日	①平成23年10月8日(土)、9日(日) ②12月10日(土)、11日(日) ③平成24年2月18日(土)、19日(日)	
内容	Word2007・Excel2007の基本操作	
参加者数	①38人 ②43人 ③41人	

No. 12	ワーク・ライフバランスはなぜ必要か？	共催) 特定非営利活動法人わあくらいふさぼーたー
実施日	平成23年12月18日(日)	
内容	<input type="checkbox"/> 第一部：講演「ワーク・ライフバランスはなぜ必要か？」 小室淑恵氏(株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長) <input type="checkbox"/> 第二部：パネルディスカッション。 パネリスト：阿部重利氏(特定非営利活動法人わあくらいふさぼーたー代表理事) 三浦美樹氏(チェスター司法書士事務所 代表司法書士) 清雲栄純氏(大宮アルディージャ トータルアドバイザー) 清水勇人氏(さいたま市長)	
参加者数	101人	
No. 13	女性創業セミナー②	共催) 埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成23年12月10日(土)	
会場	新都心ビジネス交流プラザ	
内容	創業に対する考え方、子育てとの両立など「女性に特有の課題」を学び、先輩女性起業家からのトークセッションを実施。 講師 上岡実弥子氏(株式会社キャラウィット代表取締役、中小企業診断士) ゲスト起業家 佐藤紗矢香氏(Lyrique(リリク)代表)	
参加者数	17人	
No. 14	理科大好き！ 集まれ 女性科学者のたまごたち！	共催) 国立大学法人埼玉大学 埼玉県立中央高等技術専門校
実施日	平成23年12月23日(金)	
内容	小学校5・6年生女子児童を対象とした理科系セミナー。 <input type="checkbox"/> 第一部「埼玉大学によるプログラム」 ・女性科学者によるおはなしと実演 講師 ・分子生物学 日原由香子氏准教授 ・界面化学 ヴィレヌーヴ真澄美助教 <input type="checkbox"/> 第二部「県立中央高等技術専門校のロボット操作と実演」 ・人型・アーム型ロボットを動かしてみよう！	
参加者数	36人	
No. 15	企業の仕事と生活の両立支援推進セミナー②	共催) 埼玉県勤労者福祉課
実施日	平成24年1月25日(水)	
内容	企業の女性活用やワーク・ライフバランスの重要性について考える。 [基調講演講師] 大沢真知子氏(日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科教授) [パネルディスカッション] パネリスト：栗田美和子氏(株式会社クリタエイムデリカ常務取締役) 石田茂氏(ボラス株式会社人事総務部人事課長) コーディネーター：大沢真知子氏(日本女子大学 人間社会学部 現代社会学科教授)	
参加者数	71人	
No. 16	埼玉県女性経営者支援セミナー	共催) 埼玉県産業支援課、サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県創業・ベンチャー支援センター
実施日	平成24年2月2日(木)	
内容	チャレンジする女性経営者を応援するセミナー <input type="checkbox"/> 第一部 経営革新計画承認制度について <input type="checkbox"/> 第二部 講演：凡事徹底「平凡なことを非凡に努める」 [講師] 鍵山秀三郎氏 (特定非営利活動法人日本を美しくする会相談役(株式会社イエローハット創業者)) [その他] 終了後、希望者を対象とした交流会	
参加者数	73人	

No. 17	消費生活講演会 NO!と言える脳 【後援】	主催) 埼玉県消費生活コンサルタントの会 後援) 埼玉県消費生活センター、さいたま市
実施日	平成24年2月5日(日)	
会場	さいたま市民会館おおみや	
内容	脳科学者 茂木健一郎氏講演会	
参加者数	254人	

No. 18	こども☆夢☆未来フェスティバル【後援】	主催) 特定非営利活動法人彩の子ネットワーク
実施日	平成24年3月4日(日)	
会場	埼玉県県民活動総合センター	
内容	『こども』『子育て』『障害』『環境』『食』『音楽』『人権』などに関するさまざまな学びや遊びを用意し、人と人との豊かな出会い、関わり合いを作る。 「子育て中の女性が利用できる支援機関スタッフによるパネルディスカッション」も中で開催。	
参加者数	8人	

No. 19	シングルマザーのための子育て講座	共催) 財団法人埼玉県母子寡婦福祉連合会
実施日	平成24年3月4日(日)	
内容	□講演: どうしよう! 子どもが不登校になってしまったら 講師: 相模幸之氏(埼玉県総合教育センター おおみや相談室) □講演: 考えよう!! お子さんの将来と進学費用 講師: 昼間恵子氏(埼玉県東部中央福祉事務所 女性相談員)	
参加者数	37人	

(イ) 経済的な困難な状況にある女性対象の講座等

No. 1	就労に役立つパソコン講座(初心者向け)	
実施日	日曜コース: 平成23年6月5日、12日、19日、26日、7月3日 平日コース: 平成23年10月21日(金)、24日(月)、28日(金)、31日(月)、11月4日(金)	
内容	パソコンの基本操作、ワード・エクセル・インターネットの基礎を学ぶ。 [その他] 各受講日の講座終了後、希望者を対象に自由にパソコンの自習等ができる場を設定。各受講日の講座前後、希望者を対象として自立相談を実施。 講師 特定非営利活動法人 生涯学習コーディネーター協会	
参加者数	日曜コース 延べ85人 / 平日コース 延べ95人	

No. 2	就労に役立つパソコン講座(活用編)	
実施日	日曜コース: 平成23年9月4日、11日、18日、25日、10月2日 平日コース: 平成24年2月10日(金)、13日(月)、17日(金)、24日(金)、27日(月)	
内容	就労に役立つ実践的で便利な機能(文書作成や編集、表計算の活用、グラフ機能等)を学ぶ。 [その他] 各受講日の講座終了後、希望者を対象に自由にパソコンの自習等ができる場を設定。各受講日の講座前後、希望者を対象として自立相談を実施。 講師 特定非営利活動法人 生涯学習コーディネーター協会	
参加者数	日曜コース 延べ80人 / 平日コース 延べ98人	

No.3	自立・就労をめざす女性のための応援フェア
実施日	平成23年10月30日(日)
内容	就労に必要なさまざまな知識やスキルを身につけるプログラム <input type="checkbox"/> 証明写真撮影会 <input type="checkbox"/> お仕事の探し方講座 <input type="checkbox"/> 履歴書・職務経歴書個別相談 <input type="checkbox"/> ロールプレイングで学ぶ模擬面接 <input type="checkbox"/> 面接に役立つメイク講座 <input type="checkbox"/> 心を癒すハンドマッサージ <input type="checkbox"/> お楽しみ抽選会 <input type="checkbox"/> お子さま向けイベント(工作コーナー/おはなし会/ステッカーアート) 協力 有限会社京浜フォトサービス/社団法人埼玉県農林公社/ザ・ボディショップ(株式会社イオンフォレスト)/株式会社スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイルカンパニー/SLOW BEAUTYSTYLE/パークレイズ・キャピタル証券株式会社 (50音順)
参加者数	39人

No.4	在宅ワーク体験セミナー ※委託事業 [委託先] 有限会社E-スタジオ
実施日	平成24年2月15日(水)、23日(木)、29日(水)、3月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)、12日(月)、13日(火)、19日(月) ※3月19日は基礎知識習得講座のみ実施
内容	在宅ワークの正しい基礎知識を習得し、実践的なノウハウを体験しながら学ぶ。 <input type="checkbox"/> 基礎知識習得【講義】 入力、デザイン・編集業務に関する在宅ワークの基礎知識を習得。 <input type="checkbox"/> 操作実習【PCでの操作体験】 在宅ワークに必要なPCスキル習得。入力業務・ライティングまたはDTP業務体験。 <input type="checkbox"/> 在宅ワーク業務を提供している職場にて実際の業務を模擬体験(希望者のみ) 職場見学、データ・文字入力業務体験、編集・ライティング業務体験
参加者数	延べ194人

(ウ) おおむね39歳以下で現在求職中の女性対象の講座等

No.1	「パソコン+しごと準備講座【ガールズ編】」 ※委託事業 [委託先] 企業組合 演劇デザインギルド
実施日	第1クール <input type="checkbox"/> プレ講座 平成23年6月10日(金) <input type="checkbox"/> 本講座 7月13日(水)～8月3日(水)の水・金・日曜の10日間 <input type="checkbox"/> フォローアップ 8月19日(金)、9月16日(金)、10月16日(日)、11月21日(月)、12月22日(木)、平成24年1月30日(月)、2月20日(月)、3月21日(水) 第2クール <input type="checkbox"/> プレ講座 平成23年10月16日(日) <input type="checkbox"/> 本講座 11月9日(水)～30日(水)の水・金・日曜の10日間 <input type="checkbox"/> フォローアップ 12月19日(月)、22日(木)、平成24年1月25日(水)、2月15日(水)、3月14日(水)、21日(水)
内容	生きづらさ、働きづらさに悩む若年単身女性を対象に、心身の調子を整えながら自分にあった働き方を探せるよう、リラクゼーション講座午前に、午後にはパソコン講座を実施。 [協力] SLOW BEAUTY STYLE、県勤労者福祉課
参加者数	第1クール 延べ343人 / 第2クール 延べ408人

No.2	生きづらさ・働きづらさに悩む若年女性のグループ相談会 「おはなしカフェ」 ※委託事業 [委託先] 特定非営利活動法人 NPO日本キャリアコンサルタント協会
実施日	平成23年7月13日、27日、8月10日、24日、9月14日、28日、10月12日、26日、11月9日、12月14日、平成24年1月11日、25日、2月8日、22日、3月14日(全日程水曜)
内容	「働かなければならないけど、ブランクがあるとどこも雇ってもらえない。」「対人関係が苦手なので、就活自体がづらい…。」など働きづらさに悩みを抱えた仲間と語り合う。
参加者数	延べ101人

No.3	シングルマザーのためのグループ相談会 「おはなしカフェ」
実施日	平成23年5月26日(木)、6月26日(日)、7月28日(木)、8月28日(日)、9月29日(木)、10月15日(土)、16日(日)、11月25日(金)、12月18日(日)、平成24年1月26日(木)、2月26日(日)、3月7日(水)
内容	子どもや仕事のこと、養育費や福祉手当、整理がつかない気持ちなどシングルマザー同士で知恵や経験を分かち合う。 講師 小泉 久子氏
参加者数	延べ88人

(エ) 働く女性のためのステップアップ事業(委託事業:株式会社日本マンパワー)

No.1	働く女性のためのステップアップ講座
実施日	平成23年6月18日～翌3月7日 延べ12回実施
内容	職場におけるステップアップ、業務スキルの向上を目指すセミナーを開催した。 ①キャリアデザインセミナー:参加者同士で交流しながら、これからの働き方・生き方について考える。 ②ロジカルプレゼンテーションセミナー:円滑なコミュニケーションを図るため、ロジカル(論理的)に分かりやすく伝えるためのスキルを身につける。 ③アサーティブコミュニケーションセミナー:言いたいことを我慢したり、言い過ぎてしまったりというストレスを減らすために、自分も相手も大切にコミュニケーション方法を学ぶ。 ④コーチングスキルセミナー:相手の言葉に耳を傾けながら「気づき」を与えるコーチングを学ぶ。 ⑤リーダーシップスキルセミナー:モチベーションマネジメントなどのコミュニケーションスキルを学びながら、自分らしいリーダーシップの発揮を目指す。 ⑥タイムマネジメントセミナー:タイムマネジメントサイクル(計画、実行、評価)の3ステップの方法を学び、時間の有効活用術を身につける。 ⑦OJTスキルアップセミナー:やる気を引き出す効果的な指導法を学ぶ。また、良き相談者にもなれるよう、効果的な話の聴き方も学ぶ。 ⑧メンタルヘルスセルフケアセミナー:ストレスへの適切な対処法を実践的に学ぶ。 講師 キャリアカウンセラー ほか
参加者数	延べ 225人

No.2	経営者の講演会+働く女性の交流会
実施日	第1回 平成23年12月3日 第2回 平成24年1月19日
内容	第1回 講演会「女性経営者から働くあなたへのメッセージ」 講師 株式会社メガネマーケット 代表取締役 久賀きよ江氏 第2部 働く女性の交流会 第2回 講演会「企業内にてキャリアアップを考えるあなたへのエール」 講師 株式会社にしけい 東京支社 総務部管理課 課長 西孝子氏 第2部 働く女性の交流会
参加者数	第1回 28人 第2回 29人

No.3	橋渡しセミナー
実施日	第1回 平成23年10月19日 第2回 平成24年1月28日
内容	働き始めて1年程度の女性向けのセミナーを実施した。 これから仕事を続けていくために「身につけておきたいこと」や「今するべきこと」を同じ立場の仲間同士で考える。 講師 埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー
参加者数	第1回 9人 第2回 6人

No.4	WW（わいわい）クラブ
実施日	第1回 平成24年1月21日 第2回 平成24年2月25日 第3回 平成24年3月17日
内 容	働く女性同士のグループ相談会を実施した。 テーマ 【第1回】 キャリアチェンジについて考えよう 【第2回】 職場の人間関係で悩まないために 【第3回】 マンネリ化を感じたときの脱出法
参加者数	第1回 6人 第2回 2人 第3回 1人

カ 女性キャリアセンター運営事業

(ア) 就職支援セミナー（委託事業：株式会社日本マンパワー）

No.1	所内セミナー
実施日	平成23年5月10日～翌3月21日 各月4回 延べ44回実施
内 容	結婚や出産を機に退職したが、再び働きたいと考えている女性を対象に、再就職活動に役立つセミナーを開催した。 ①自己再発見セミナー：自己分析が必要な理由、経験から自分の強みを知ろう、自分らしさを仕事で活かす ②情報収集お役立ちセミナー：いろいろな働き方、女性が働きやすい職場を探してみよう、求人情報の収集と求人票の見方、知らないと損する労働の制度 ③応募書類準備セミナー：履歴書作成の注意事項、職務経歴書の評価のポイント、職務経歴書の作成手順、添え状の書き方 ④面接準備セミナー：基本的なビジネスマナー、面接における質疑応答、面接ロールプレイング、面接官の視点から考える ⑤就職活動に役立つコミュニケーションセミナー：コミュニケーションの大切さ、話の聴き方、受け止めかた、上手な自己主張のしかた、論理的に話すコツ ⑥仕事を通じた将来を想像してみよう：キャリアビジョンの立て方、先輩ワーキングマザーからのお話、体験談から見えたこと、自分のキャリアデザインを考える 講師 埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー
参加者数	延べ 920人

No.2	出前セミナー
実施日	平成23年5月27日～翌3月27日 延べ100回開催
会場	各市町男女共同参画推進センター、子育て拠点施設、公民館等
内容	<p>就職支援セミナーに参加したいけれど、さいたま新都心まで出かけるのは難しいという女性のために、県内各地で出前セミナーを開催した。</p> <p>①はじめの一步応援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再び働く意味と不安を一緒に考えよう ・女性を取り巻く労働環境 ・自分の強みってなんだろう？ ・将来の働く自分をイメージしてみよう <p>②仕事と家庭の両立ってどうしているのかしら？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く動機～何のために働くのか？ ・タイムスケジュールを作ってみよう ・ライフ年表から未来を考える ・自分から作る協力体制・環境づくり <p>③～就職に向けて～自分の素敵と魅力を見つけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験の振り返り ・長所と短所は表裏一体 ・強みな得意なことの明確化 ・人から見た私、互いの強みをみつけよう <p>④上手に私をアピールする方法って？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールポイントの選定 ・上手な表現方法①態度、表情 ②文章、口頭 ・採用担当者の視点 <p>⑤ビジネスマナーって難しいの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ ・話し方、言葉づかい ・基本動作、表情 ・電話対応 <p>⑥自分らしい働き方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな働き方 ・自分に合った働き方 ・働き方によるメリット、デメリット ・社会保険と不要の仕組み <p>講師 埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー</p>
参加者数	延べ 1,065人
No.3	特別セミナー パソコンを活用した職務経歴書作成セミナー
実施日	第1回 平成23年7月6日(水)、14日(木) 第2回 平成23年10月14日(金)、26日(水)
内容	<p>1日目 経験の振り返りと整理 職務経歴書の下書き</p> <p>2日目 下書きをもとにパソコンを使った職務経歴書作成</p> <p>講師 埼玉県女性キャリアセンター キャリアカウンセラー</p>
参加者数	第1回 34人 第2回 33人
No.4	特別セミナー 就職面接のための印象度アップ！セミナー
実施日	平成23年9月5日(月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・印象づくりの基礎知識 ・就職面接での役立つ好印象の色使い ・就職面接メイクの留意点 <p>講師 キャリアカウンセラー ほか</p>
参加者数	59人
No.5	働きたい女性と働く女性&人事担当者とのなんでもトーク交流会
実施日	第1回 平成23年8月24日(水) 第2回 平成23年10月27日(木)
内容	<p>働く意欲はあるけれど、ブランクや両立に悩む女性に対して、企業との交流の場を提供し、企業の人事担当者やその企業で働く女性社員から直接、生の声を伝えることで、就職に対する不安や疑問を解消し、積極的な就職活動ができるよう支援するセミナーを開催した。</p> <p>【参加企業】 第1回 ジブラルタ生命保険株式会社 株式会社アイエスエフネット 株式会社ベネッセスタイルケア</p> <p>第2回 生活協同組合さいたまコープ 日本生命保険相互会社ライフプラザ大宮 株式会社メガネマーケット</p>
参加者数	第1回 28人 第2回 29人

No.6	もう一度働きたい女性のための企業合同説明会															
実施日	平成24年1月27日(金)															
内容	<p>すぐに働きたい女性に対し、女性を採用する意欲のある複数の企業から個別に事業説明が受けられる場を提供することにより、具体的な再就職活動を支援した。</p> <p>【参加企業】</p> <table border="0"> <tr> <td>医療法人明芳会</td> <td>イムス板橋リハビリテーション病院</td> <td>株式会社 住協</td> </tr> <tr> <td>ハイトスコオペレーション株式会社</td> <td></td> <td>ライフサポート株式会社</td> </tr> <tr> <td>朝日生命保険相互会社さいたま支社</td> <td>大宮営業所</td> <td>生活協同組合さいたまコープ</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人北谷みどり会</td> <td>めえめえこやぎ ども園</td> <td>株式会社 阪急交通社</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人健友会</td> <td>特別養護老人ホーム みなみかぜ</td> <td>株式会社ウイズネット</td> </tr> </table>	医療法人明芳会	イムス板橋リハビリテーション病院	株式会社 住協	ハイトスコオペレーション株式会社		ライフサポート株式会社	朝日生命保険相互会社さいたま支社	大宮営業所	生活協同組合さいたまコープ	社会福祉法人北谷みどり会	めえめえこやぎ ども園	株式会社 阪急交通社	社会福祉法人健友会	特別養護老人ホーム みなみかぜ	株式会社ウイズネット
医療法人明芳会	イムス板橋リハビリテーション病院	株式会社 住協														
ハイトスコオペレーション株式会社		ライフサポート株式会社														
朝日生命保険相互会社さいたま支社	大宮営業所	生活協同組合さいたまコープ														
社会福祉法人北谷みどり会	めえめえこやぎ ども園	株式会社 阪急交通社														
社会福祉法人健友会	特別養護老人ホーム みなみかぜ	株式会社ウイズネット														
参加者数	117人															

No.7	パソコンスキルアップセミナー&自主トレ
実施日	平成23年6月13日～翌平成24年3月17日 各月4回 延べ80回実施
内容	<p>すぐに再就職したいけれど、パソコンスキルに自信がないという女性に向けたパソコンセミナー。毎回スキルチェックを行い、自分のレベルを確認できるようにした。</p> <p>【テーマ】 Word 基本、Word 応用、Excel 基本、Excel 応用、PowerPoint、ビジネスメール</p> <p>自主トレは、個人での復習や職務経歴書作成などを目的にしたフリーセミナー。講師2名が在駐し、個々の質問に応じるほか、テキストの貸し出しなども行った。</p>
参加者数	延べ659人

No.8	働きたい女性のための3日間集中セミナー												
実施日	平成23年6月10日～翌3月16日 延べ10回(30日)実施												
内容	<p>すぐに働きたい女性に対し、応募書類の作成や面接訓練など、就職活動のノウハウを短期間で習得できるセミナーを実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>1日目</td> <td>・求人情報の見つけ方と注意点</td> <td>・経験の振り返り</td> <td>・業種・職種情報、求人情報の提供</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>・応募書類の作成</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3日目</td> <td>・第一印象の重要性</td> <td>・ビジネスマナー</td> <td>・面接練習</td> </tr> </table>	1日目	・求人情報の見つけ方と注意点	・経験の振り返り	・業種・職種情報、求人情報の提供	2日目	・応募書類の作成			3日目	・第一印象の重要性	・ビジネスマナー	・面接練習
1日目	・求人情報の見つけ方と注意点	・経験の振り返り	・業種・職種情報、求人情報の提供										
2日目	・応募書類の作成												
3日目	・第一印象の重要性	・ビジネスマナー	・面接練習										
参加者数	延べ352人												

No.9	企業の女性力活用セミナー
実施日	第1回 平成23年11月16日(水) 第2回 平成24年2月8日(水)
内容	<p>企業人事担当者向けに女性社員の人材活用セミナーを実施した。</p> <p>内容 ・女性活用のメリットとは ・女性社員に活躍してもらうためには</p> <p>・定着化、戦力化を実現するための各種制度 ・アクションプランの作成</p> <p>講師 樋野昌法(株式会社トリプルウィンコンサルティング代表取締役)</p> <p>中小企業診断士・社会保険労務士</p>
参加者数	第1回 16人 第2回 20人

(イ) 女性就業相談事業(委託事業:株式会社日本マンパワー)

No.1	チャレンジ&お仕事相談
内容	<p>「子育てが一段落したら働きたいと思うけれど、どうしたらよいかかわからない」「ブランクのある自分に自信が持てない」などの悩みに専門の女性キャリアカウンセラーが面談で話を伺い、子育て支援情報など役立つ情報を提供しながら、きめ細やかに支援した。</p> <p>【面談相談】 1回45分(1日5回) 月曜日～土曜日(祝日・年末年始・第3木曜日を除く)</p> <p>【電話相談】 1回20分月曜日～土曜日(祝日・年末年始・第3木曜日を除く) 10:00～16:30</p>

No.2	お仕事紹介（キャリアカウンセリング）
内 容	すぐに働きたいけれど、家庭との両立やブランクなどの課題を抱えて就職活動が思うように進まない女性を対象に、キャリアカウンセリングのうえお仕事を紹介する。 1回45分（1日5回） 月曜日～土曜日（祝日・年末年始・第3木曜日を除く）

No.3	出前相談
内 容	さいたま新都心まで来ることが難しい女性のために、県内各地で出前相談会を開催した。

（ウ）マザーズハローワーク大宮出張相談・職業紹介

毎週火曜日に、マザーズハローワーク大宮のスタッフが女性キャリアセンターで出張相談と職業紹介を行った。

（エ）利用状況

		平成23年度	開所からの累計
開所日数		280日	1,085日
利用者合計 ①～⑫		8,191人	23,499人
来所者 ①～⑧		5,856人	16,554人
	①面談相談（チャレンジ&お仕事相談）	1,305人	5,476人
	②職業紹介・定着支援	1,617人	1,617人
	③ステップアップ面談相談	81人	81人
	④セミナー等参加者（回数）	2,268人（182回）	7,187人（507回）
	⑤ステップアップ講座（回数）	306人（19回）	306人（19回）
	⑥求人検察閲覧・資料閲覧	2人	224人
	⑦マザーズ職業紹介（回数）	220人（49回）	872人（187回）
	⑧見学・視察・その他	57人	791人
電話 ⑧～⑩		1,235人	4,610人
	⑧電話相談（チャレンジ&お仕事相談）	854人	854人
	⑨ステップアップ電話相談（回数）	154人（89回）	154人（89回）
	⑩面談予約、自立支援紹介、他機関紹介、その他	93人	93人
出前 ⑪～⑫		1,234人	5,844人
	⑪出前相談（キャリアカウンセリング）（回数）	72人（33回）	359人（158回）
	⑫出前セミナー（回数）	1,162人（109回）	4,353人（360回）

※ 開所からの累計のうち、出前事業には職業訓練準備セミナーを含む（平成22年度実施）。

（オ）婦人相談センターにおける就職支援セミナー・キャリアカウンセリング

出前セミナー・出前相談（DV被害者対象）	
実 施 日	平成23年5月13日～翌3月9日 延べ9回実施
会 場	婦人相談センター
内 容	婦人相談センター入所者を対象に就職支援セミナー及びキャリアカウンセリングを実施した。
参 加 者 数	セミナー 延べ43人 キャリアカウンセリング 延べ24人

(カ) 市町村における女性チャレンジ推進団体委託事業

事業内容	受託団体
「男性の介護参画を考える」 (映画上映会&トークセッション及びパネルディスカッション)	こしがや男女共同参画の会パティオ
子どもの被ばくによる健康リスク軽減及び女性の社会参画のために (ワークショップ及び講演会)	こども未来・東松山

キ 相談事業

(ア) 23年度相談主訴別件数 (女性)

(性別不明を含む)

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
夫 婦	0	53	280	290	123	80	15	22	863
家族・親族	6	49	172	378	151	94	30	26	906
D V	5	37	105	104	40	22	7	22	342
人間関係	7	51	175	265	69	37	8	6	618
生き方	0	13	45	56	19	17	2	3	155
こころ	5	50	264	538	106	61	4	12	1,040
からだ・性	2	6	24	27	10	1	0	3	73
仕事	2	19	56	140	22	3	0	8	250
暮らし	1	6	25	48	12	35	6	5	138
その他	9	42	151	190	26	24	1	540	983
合計	37	326	1,297	2,036	578	374	73	647	5,368

(イ) 23年度相談主訴別件数 (男性)

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	合計
夫 婦	0	2	26	20	2	1	1	5	57
家族・親族	1	2	12	15	11	4	6	2	53
D V	0	8	4	5	5	4	1	5	32
人間関係	2	6	38	6	5	1	0	0	58
生き方	1	1	21	2	1	1	0	0	27
こころ	1	13	198	5	1	1	0	1	220
からだ・性	3	0	4	4	0	0	0	2	13
仕事	0	7	14	4	1	0	0	0	26
暮らし	0	1	27	2	1	0	0	0	31
その他	1	5	114	6	1	2	0	57	186
合計	9	45	458	69	28	14	8	72	703

(ウ) 相談の特徴

平成23年度は、6,071件の相談があった。相談者を年代別に見ると、30代、40代の占める割合が多く、全体の6割以上を占める。又、男性からの相談件数は、703件(11.6%)で、昨年の相談件数472件の1.5倍となっている。

相談内容別に見ると、「夫婦」「家族・親族」「DV」など身近な人との関係についての相談が最も多く、全体の37%(2,253件)を占め、「こころ」に関する相談が21%(1,260件)と続く。「こころ」の相談は、うつ病などの精神疾患を抱える相談者からの“不安や辛さについての相談”が多く、自殺への思いを訴える相談も年々増加している。

主訴以外も含めたDV相談件数は昨年比1.2倍(498件→609件)と増加しており、相談件数全体の1割を占める。

また、近年、交際相手からの暴力の相談や、DV以外の家族間暴力の相談、危険度の高いストーカー被害に関する相談なども増加している。

(エ) 課題

当センターは24年8月、配偶者暴力相談支援センターを開設し、被害者に対する支援の充実を図る。DVの専門相談機関に位置づけられることによりDV困難ケースの増加が予想されるため、より一層の相談の質の向上を図る必要がある。

また、危険度や緊急度の高い相談が入った場合には、的確な判断と他機関連携を含む迅速な対応が必要とされることから、常時適切な対応が可能な相談体制を整備する必要がある。

(オ) 今後の取組

男女共同参画に係る県内相談機関の中心として、近隣市町村のネットワーク化による相談体制の充実を図るとともに、研修・情報交換会による相談事業の支援を行う。

また、「グループ相談」や「カウンセリング」の継続実施により、DV被害者の心身の健康回復と自立の促進を図るとともに、デートDV防止を図るため、若年者が相談しやすい体制を整える。

2 平成24年度事業計画

ア 研修・講演事業

名 称	開 催 日	定 員
第1回市町村男女共同参画担当職員研修	5/29、30	70
第2回市町村男女共同参画担当職員研修	7/17、18	70
第3回市町村男女共同参画担当職員研修	9/24、11/7	80
女性創業塾 (さいたま市商工会議所共催)	7/7、14、21、28、29、8/4、5	30
公開講座 「ジェンダー文化論～王朝和歌からディズニーまで」 (立教大学共催)	6/22、29、7/6、13	60
公開講座 「埼玉版～地域に根ざしたまちづくり」 (埼玉大学共催)	11/3、10、17	60
女性創業セミナー (財団法人埼玉県産業振興公社共催)	12/8	30
公開講座 「社会を拓(ひら)く女性力」 (埼玉学園大学・川口短期大学共催)	9/29、10/6、13、20	60
公開講座 「男女共同参画基礎講座」 (東京家政大学共催)	9/28、10/1、15、22、29、11/5	60
働きたいママのための就活・保活おしゃべりサロン	9/4、10/9、11/14、12/4、1/15	各回10
アカデミズムの扉を開く-2013	3/2	60
生きづらさ、働きづらさに悩む若年女性のグループ相談会 「おはなしカフェ」	6/20、7/18、8/15、9/12、10/3、 11/14、12/12、1/9、2/13、3/10	各回10
シングルマザーのためのグループ相談会 「おはなしカフェ」	6/24、7/22、8/12、9/16、10/28、 11/11、12/16、1/13、2/10、3/24	各回10
ひとり親家庭の母等のパソコン教室 (県母子寡婦福祉連合会共催)	9/8、9、11/10、11、12/15、16	25
理科大好き！集まれ 女性科学者のたまごたち！ (国立大学法人埼玉大学、県立中央高等技術専門校共催)	8/19	40
パソコン講座+事業所体験 2コース	7/11、12、16、20、24、25、26、27、30、 31、8/2、5、9/27、10/2、10、17、 25、31、 11/7、21、1/16	各回40

イ 講演会

名 称	開 催 日	定 員
男女共同参画週間講演会 「いま、伝えたい“十年介護”で学んだこと」	7/8	130
DV防止フォーラム2012 in 埼玉 「家族の中で私を生きる」	11/18	130
With You さいたまフェスティバル講演会	2/3	150

ウ イベント

名 称	開 催 日	定 員
With You さいたま設立10周年記念スペシャル企画 ①映画「隣る人」上映会&トークショー ②講演会「介護（ケア）する人が幸せになるために必要なこと」	①12/2 ②12/8	①70 ②160
第11回 With You さいたまフェスティバル	2/1～3	-

エ 女性キャリアセンター運営事業

名 称	開 催 日	定 員
就職支援セミナー（センター内）	5/8～翌3/15	各24
就職支援セミナー（出前セミナー）	5/30～翌3月	各10～50
就職支援セミナー（県婦人相談センター）	5/13～翌3/19	各8
3日間集中セミナー	6/11～翌3/15	各12
母子家庭のお母さんのための就活塾 （県少子政策課 共催）	①9/7、11、18 ②11/12、16、21	各12
パソコンスキルアップセミナー&自主トレ	6/14～翌3/14	各10
特別セミナー パソコンを活用した職務経歴書作成セミナー	①7/5、13 ②10/10、19	各20
特別セミナー いろいろな働き方とマネープラン	9/5	30
特別セミナー 自分らしく働き続けるために～ワーク・ライフ・バランス～	11/7	30
働きたい女性と働く女性&人事担当者とのなんでもトーク交流会	①9/14 ②11/28	各30
働きたい女性のための企業合同説明会	1/24	100
経営者人事担当者向けセミナー	7/20	40

オ 働く女性のためのステップアップ事業

名 称	開 催 日	定 員
働く女性のためのステップアップ講座	6/16～翌2/16	各30
働く女性のためのステップアップ講座フォローアップ交流会	7/14～翌3/9	各12
働く女性のためのステップアップ講演会&交流会	①9/22 ②12/1 ③3/3	各60